

福島県の橋梁

平成4年度版

(平成2年度～平成3年度完工)





0

0



福島県の橋梁





は じ め に

ふくしま新世紀プランが平成5年度よりスタートすることになりました。その基本目標である「21世紀の新しい生活圏—美しいふくしま—の創造」の実現に向けて、私達は質の高い道づくりを進めて行かなければなりません。これまでの橋梁は、ややもすると経済性と機能性を重視した傾向が強く見られますが、21世紀の橋づくりには、地域の特色を生かした、ゆとりと潤いのある文化の香りの高い、橋づくりが必要になってくるのではないかと思います。

このような情勢の変化の中で、コンサルタンツの役割は、これからますます重要になってきますが、私達技術者も鋼橋、PC橋業界の技術にのみ頼ることなく、常に最新の情報を集め技術の向上に努力していかなければならないと考えます。

また、これからは人口の高齢化が進み社会福祉関係予算が充実される反面、道路予算はそれ程伸びないことが予想されます。したがって橋梁の設計にあたっては、維持管理をも十分に考慮し、100年～200年の間、親しまれ、地域の文化遺産となるような橋づくりを心掛けていただきたいと思います。

本書は、昭和58年度に初版を刊行して以来、今回で第6版を数え、収録された橋梁は415橋にのぼっておりますが、今後の橋梁計画を立案するに際し役立てていただければ幸いです。

道路建設課長 石 倉 三 昌

目 次

1	平成2年度に完了した主な橋梁	1
①	飯坂大橋	2
②	柴原橋	4
③	江戸橋(空港4号橋)	6
④	第二片見橋	8
⑤	新大倉川橋	10
⑥	川口橋	12
⑦	大麻平橋	14
⑧	渋川橋	16
⑨	小玉大橋	18
⑩	今泉跨線橋	20
⑪	中郷橋	22
⑫	横向大橋	24
⑬	濁川橋	26
⑭	熱塩橋	28
⑮	館ノ内橋	30
⑯	荒海橋	32
⑰	地藏川橋	34
⑱	朝日台歩道橋	36
2	平成3年度に完了した主な橋梁	39
①	宮ノ前橋	40

②	狸森橋(空港3号橋)	42
③	新 瀬 橋	44
④	田 人 大 橋	46
⑤	御 斎 所 橋	48
⑥	土 鍋 橋	50
⑦	須釜橋(空港1号橋)	52
⑧	野 上 橋	54
⑨	サンマリーナブリッジ	56
⑩	奥 田 橋	58
⑪	松ヶ作橋(空港5号橋)	60
⑫	福島空港進入灯橋梁	62
⑬	滝尻側道橋	64
③	監督員のページ	67
	横 向 大 橋	68
④	写真でみる橋梁今昔物語	79
⑤	土木学会田中賞受賞(横向大橋)	87
⑥	平成2年度完成橋梁位置図	91
⑦	平成2年度完成橋梁一覧表	95
	〔1〕 道 路 橋	96
	(1) 鋼 橋	96
	(2) P C 橋	98

〔2〕 歩道橋・その他	100
(1) P C 橋	100
〔8〕 平成3年度完成橋梁位置図	103
〔9〕 平成3年度完成橋梁一覧表	107
〔1〕 道路橋	108
(1) 鋼 橋	108
(2) P C 橋	108
(3) R C 橋	110
〔2〕 歩道橋その他	112
(1) 鋼 橋	112
(2) P C 橋	112
編集後記	114
索引	115



1 平成2年度に完了した主な橋梁



1

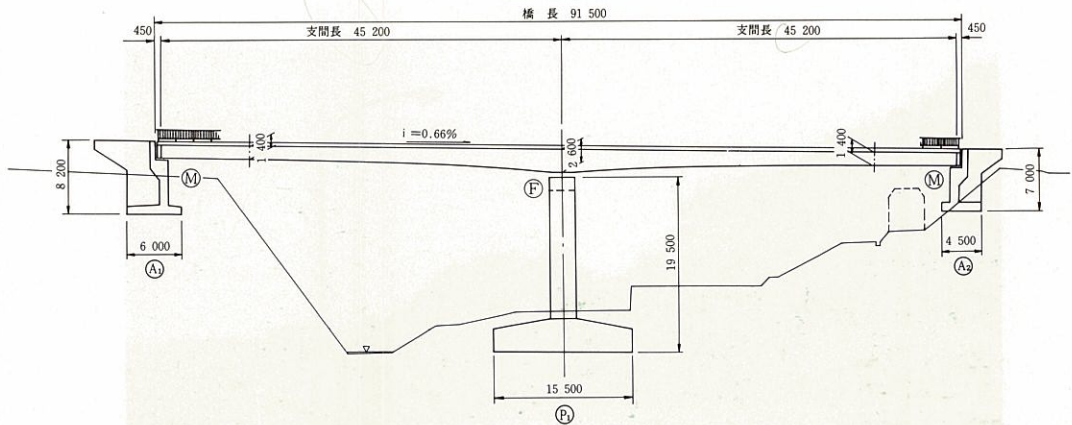
飯坂大橋

(2径間連続非合成箱桁)

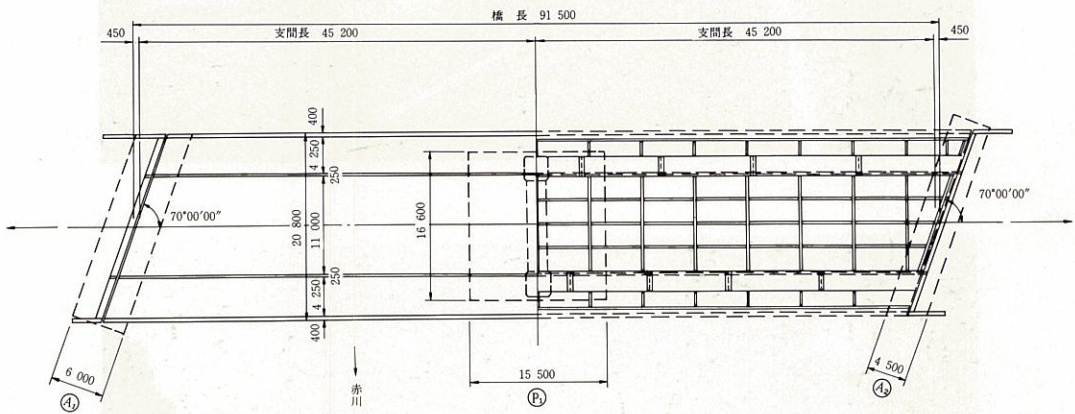


本橋は、東北地方有数の温泉街「飯坂」の歴史と自然を橋上に表現するため「文化の1%システム」(県単独費)を導入した。くだもの王国をイメージした親柱、歴史と格調を表現した高欄、さくらんぼをイメージした照明灯、川をモチーフにせせらぎを表し恵まれた自然を表現した歩道舗装にその成果が見える。

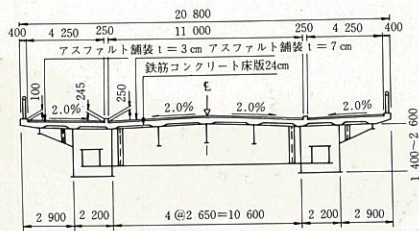
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道399号	総鋼重	474 t	単位面積当たり重	259 kg/m ²
位置	起点側	福島市飯坂町字御行壇		塗装種類	プライマー エッチングプライマー 下塗り 鉛系さび止めペイント 中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料		
河川名	1級河川	赤川(阿武隈川支川)	流量	架設工法	クローラークレーン車工法		
橋長	91.500m			橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式		
支間割	2@45.200m			橋脚形式	鉄筋コンクリート逆T式		
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 4.5+2.25+3.25+3.25+2.25+4.5=20.0m			基礎工	A1、A2、P1：直接基礎		
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	575百万円	上部工事費	418百万円
						下部工事費	89百万円

2

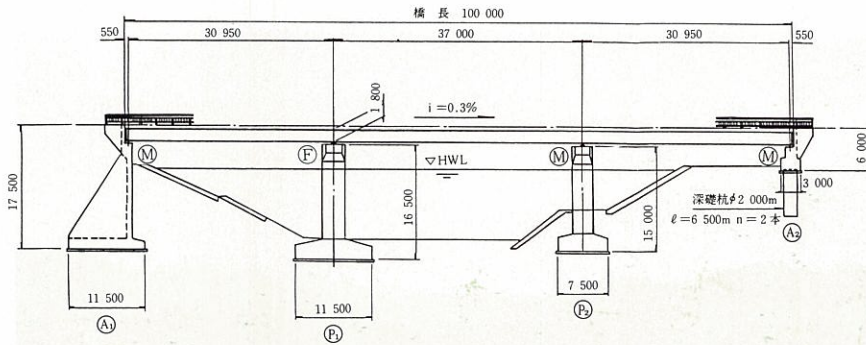
柴原橋

(3径間連続非合成鈹桁)

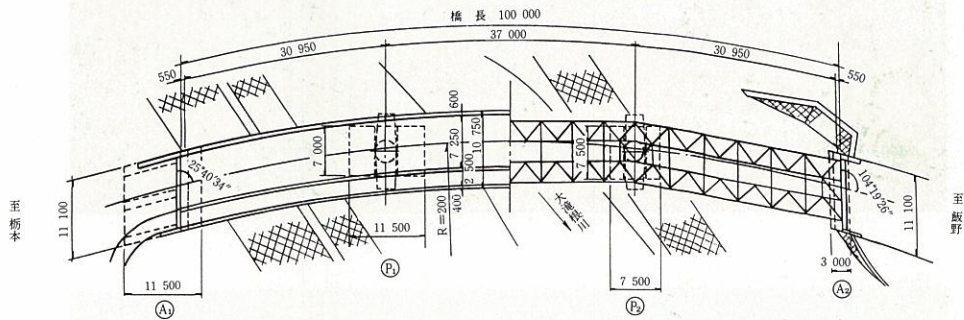


三春ダム事業で現道が水没するため、地方道改良事業にて現道付替が行われた。本橋は、蛇石工区の改良関連橋梁として、地方道橋梁整備事業にて平成元年度に着手し2ヶ年で完成したものである。湖水の上流部を横過するR=200mの曲線橋である。

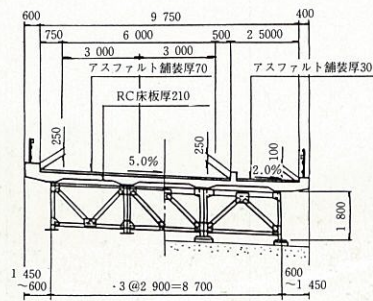
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊕	路線名	飯野三春橋本線	総鋼重	163 ^t	単位面積当たり鋼重	167 kg/m ²
位置	起点側 終点側	田村郡三春町大字滝		塗装種類	プライマー 下塗り 中塗り 上塗り	エッチングプライマー 鉛系さび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料 長油性フタル酸樹脂塗料	
河川名	1級河川	大滝根川	流量	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法		
橋長	100.00m			橋台形式	A1: 鉄筋コンクリート扱壁式 A2: 鉄筋コンクリート逆工式		
支間割	30.950+37.000+30.950m			橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式		
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.5+3.0+3.0+0.75=9.75m			基礎工	A1、P1、P2: 直接基礎、A2: 深基杭基礎(φ2,000mm)		
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	321 百万円	上部工 工事費	143 百万円 下部工 工事費
							90 百万円

3

江戸橋 (空港4号橋)

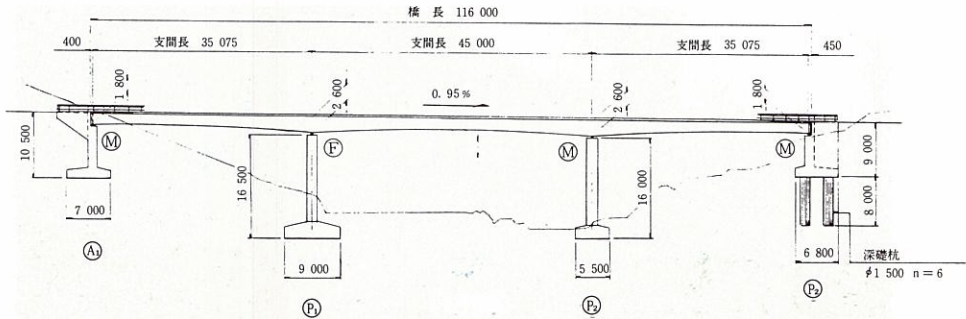
(3径間連続非合成鈹桁)



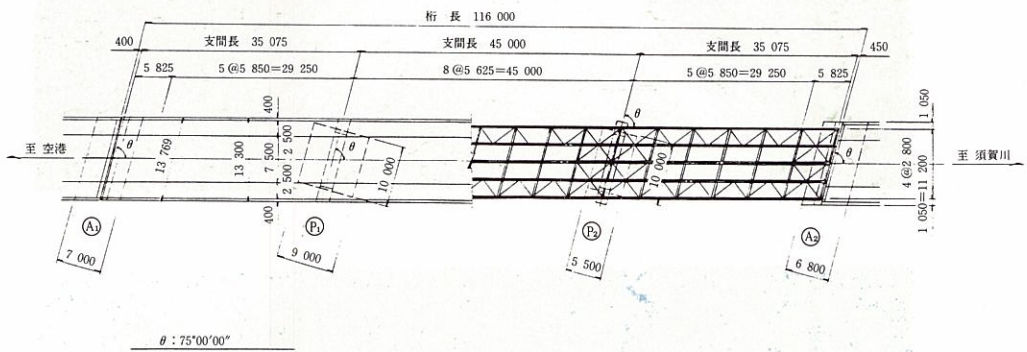
本橋は、福島空港の東側アクセス道路である一般県道古殿須賀川線の改良工事に伴い、初瀬川を跨ぐために緊急地方道整備事業にて新設された橋梁である。

側面からの景観を考慮し主桁を変断面としたほか、塗装色についても「空へ」をイメージしスカイブルーとした。

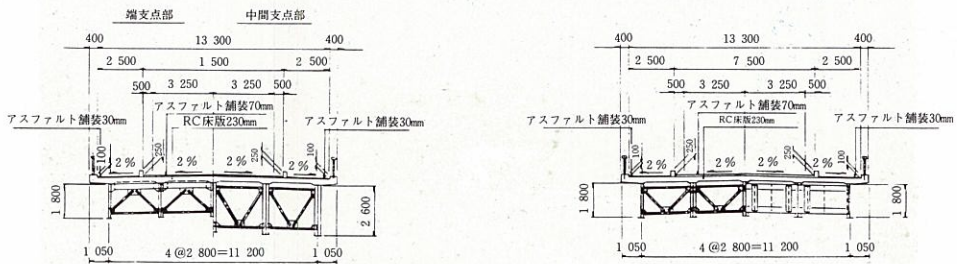
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊖	路線名	古殿須賀川線		総鋼重	248 t	単位面積当たり重	171 kg/m ²		
位置	起点側	須賀川市大字狸森字松原			塗装種類	プライマー エッチングプライマー				
	終点側	〃				下塗り 鉛系さび止ペイント 中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料				
河川名	1級河川 初瀬川		流量	95 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車によるステーキング工法				
橋長	116.000m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	35.075+45.000+37.075m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出し式				
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 2.5+0.5+3.25+3.25+0.5+2.5=12.5m				基礎工	A1、P1、P2：直接基礎、A2：深礎基礎(φ1 500mm)				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	349百万円	上部工 工事費	219百万円	下部工 工事費	85百万円

4

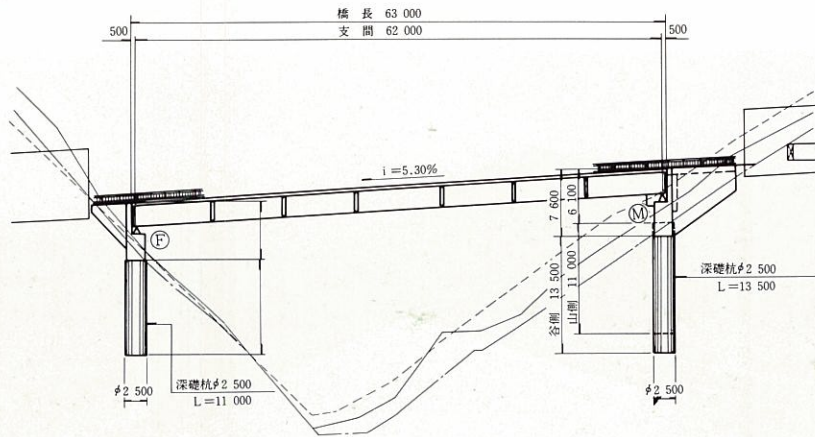
第二片見橋

(単純非合成箱桁)

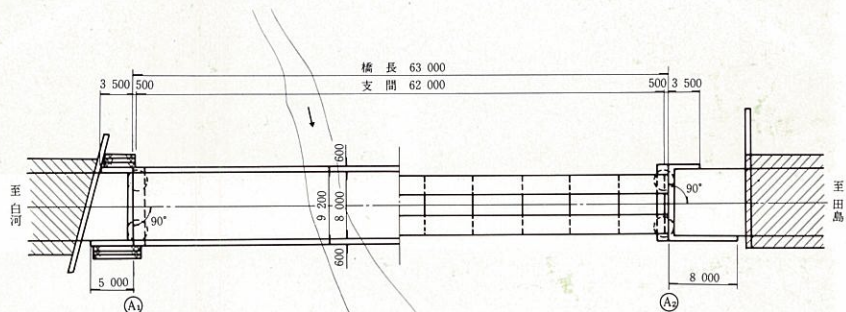


一般国道289号の甲子峠にあって、交通不能区間解消の一翼を担っている本橋は、日光国立公園内に位置するため、自然環境をそこなないように配慮されている。架設は、急峻なV字谷をまたぎ起終点のトンネルに近接しているため、手延機による引出し工法を採用した。

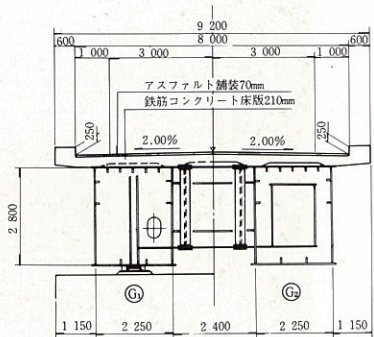
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道289号	総鋼重	238 t	単位面積当たり鋼	472 kg/m ²
位置	起点側	西白河郡西郷村大字真船		塗装種類	プライマー	エッチングプライマー	
	終点側	〃			下塗り	鉛系さび止めペイント	
河川名	白穂沢		流量	架設工法	中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
橋長	63.000m				上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
支間割	62.000m			橋台形式	鉄筋コンクリート壁式		
幅員構成	路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 8.0 m 1.0 + 3.0 + 3.0 + 1.0			橋脚形式	-		
橋格	1等橋 (TL-20)			基礎工	A1、A2：深礎杭基礎 (φ2 500 mm)		
				総事業費	300 百万円	上部工 工事費	220 百万円
						下部工 工事費	59 百万円

5

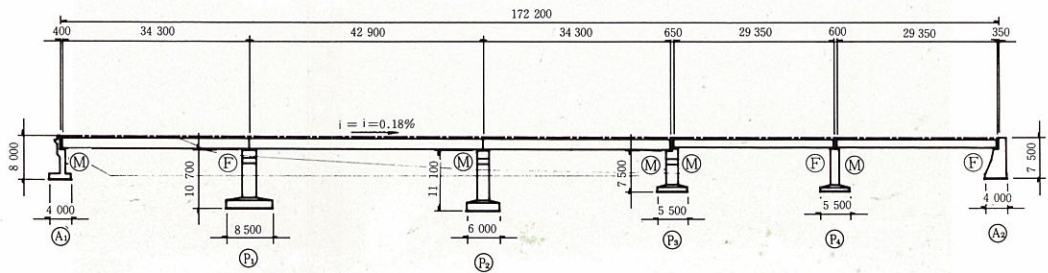
新大倉川橋

(3 径間連続非合成鈹桁)

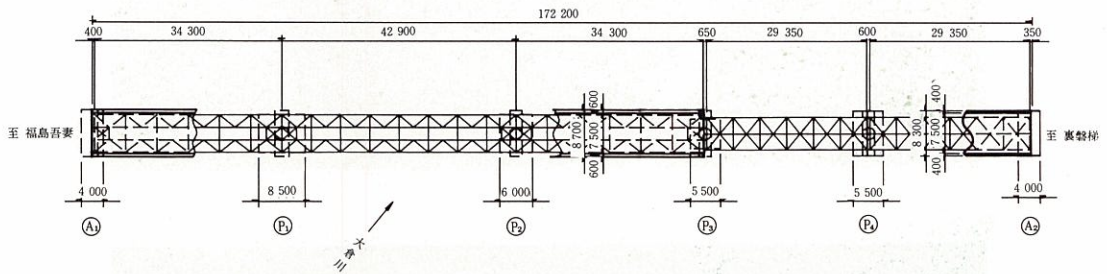


大倉川2号橋は、災害復旧事業により採択されたが、流路が大きく変化し河道が不安定化したため、災害関連緊急砂防事業の流路工の計画により橋の架橋位置において大倉川の法線が福島側に移動した。そのため実施にあたっては単独費を充当し、橋長を福島側に12.9m延ばし112.3mとしこれに対応することとした。また、今回の橋梁の施工により既設大倉川1号橋とつながりひとつの橋梁となることから、橋梁名も1号橋、2号橋をあわせて新大倉川橋と命名した。

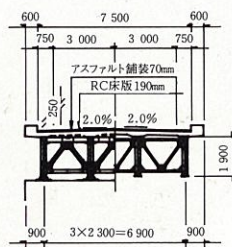
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊖	路線名	福島吾妻峯磐梯線		総鋼重	163 t	単位面積当たり重	175 kg/m ²		
位置	起点側	耶麻郡猪苗代大字若宮			塗装種類	プライマー 下塗り	エッチングプライマー 鉛系さび止めペイント			
	終点側	〃				中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料			
河川名	1級河川	大倉川(阿賀野川支川)	流量	640 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車によるステージ工法				
橋長	112.300m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	34.300+42.900+34.300m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 0.75+3.0+3.0+0.75=7.5 m				基礎工	A1、P1、P2：直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	260 百万円	上部工 工事費	141 百万円	下部工 工事費	118 百万円

6

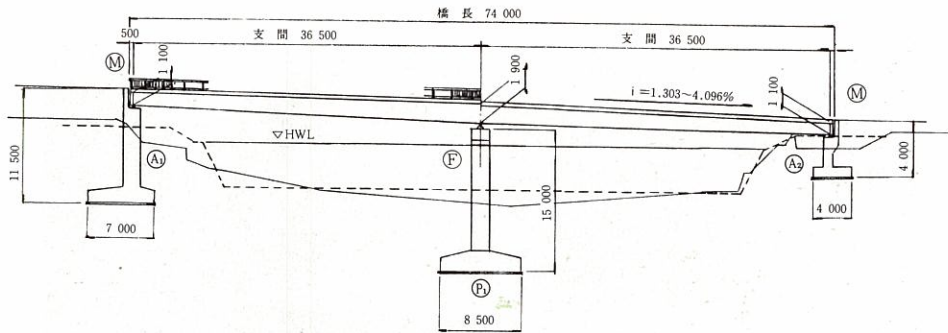
川口橋

(2径間連続非合成箱桁)

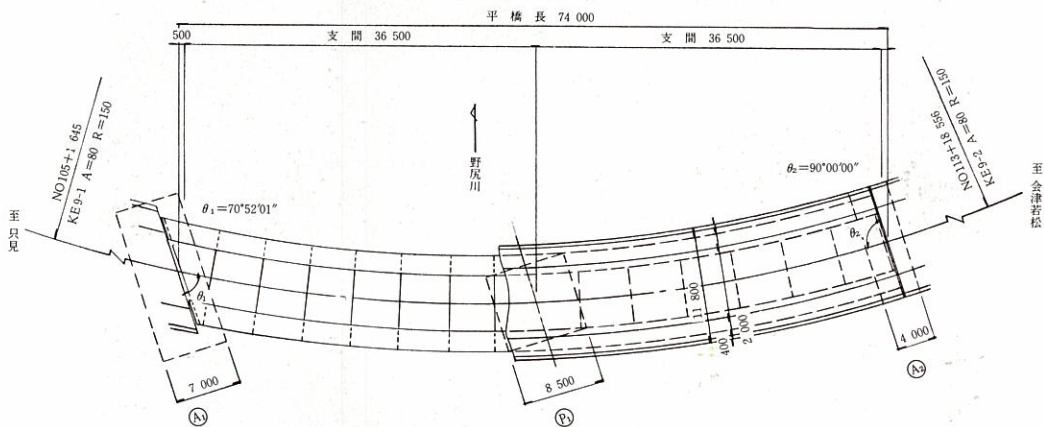


本路線は、「沼田街道」と呼ばれ、奥会津地域と会津若松市を結ぶ重要な路線であったが、明治から昭和初期までは十分な整備がなされず、会津西南地域は産業・経済面での立ちおくれが著しかった。しかし、現道沿いに流下する雄大で水量豊富な只見川が水力発電で脚光を浴び、昭和20年代に実施された「電源開発事業」にて現道の整備を含め産業・経済の活性化が図られた。その後の発展に伴い交通量が増大し、線形改良及び拡幅を目的とした国道改良事業が進められ、改良関連橋梁として国道橋梁整備事業にて昭和58年度に着手し、平成2年度に完成したものである。

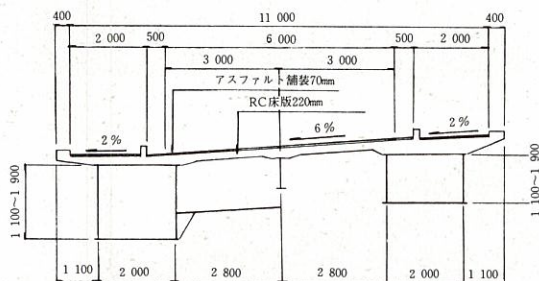
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道252号		総鋼重	190 t	単位面積当たり重	233 kg/m ²		
位置	起点側	大沼郡金山町大字川口字下岩下			塗装種類	プライマー 下塗り 中塗り 上塗り				
	終点側	大沼郡金山町大字川口字下町			架設工法	自走クレーン車によるステージ工法				
河川名	1級河川	野尻川(只見川支川)	流量	1,050 m ³ /sec	橋台形式	A1、A2：鉄筋コンクリート逆T式				
橋長	74.000m				橋脚形式	P：鉄筋コンクリート張出式				
支間割	36.500+36.500m				基礎工	A1、A2、P：直接基礎				
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 2.0+0.5+3.0+3.0+0.5+2.0=11.0m				基礎工	A1、A2、P：直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	405 百万円	上部工 工事費	182 百万円	下部工 工事費	137 百万円

7

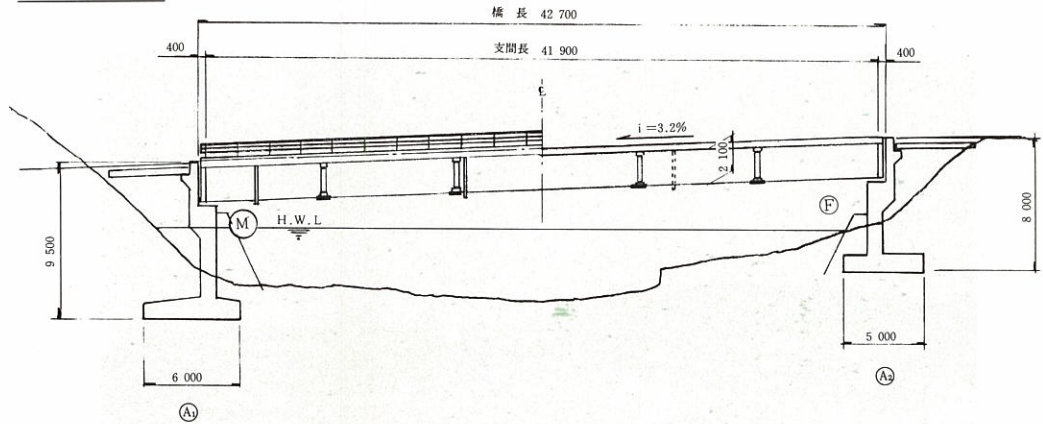
大麻平橋

(単純合成鈹桁)

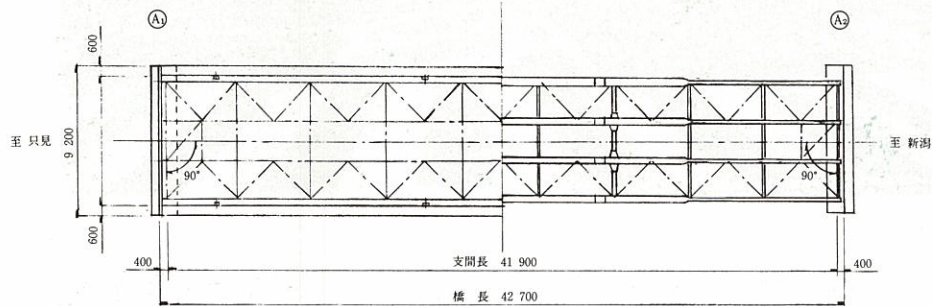


一般国道289号は、日本海側の新潟市から、三条市、只見町、田島町、白河市を経て、太平洋側のいわき市に至る本州を横断する幹線道路です。このうち新潟・福島県境（八十里越）の区間は、越後山脈の急峻な地形並びに厳しい気象条件等から車両の通行が不能になっており、地域の経済開発、文化交流及び沿線地域の生活の安定を図るため、国道改良事業入叶津工区が計画され、改良関連橋梁として国道橋梁整備事業にて新設されたものである。

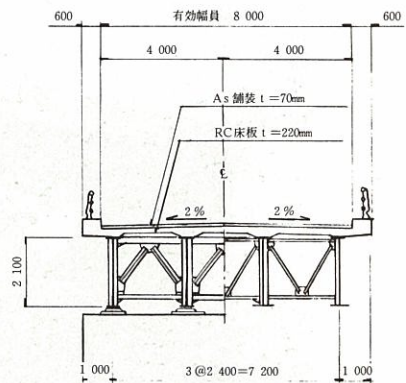
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道289号	総鋼重	87 t	単位面積当たり鋼重	255 kg/m ²		
位置	起点側	南会津郡只見町大字叶津		塗装種類	耐候性鋼材裸使用				
	終点側	〃							
河川名	1級河川 叶津川		流量	架設工法	自走クレーン車によるステーキング工法				
橋長	42.700m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式			
支間割	41.900m			橋脚形式	-				
幅員構成	路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 1.0 + 3.0 + 3.0 + 1.0 = 8.0 m			基礎工	A1、A2：直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	96 百万円	上部工事費	72 百万円	下部工事費	24 百万円

8

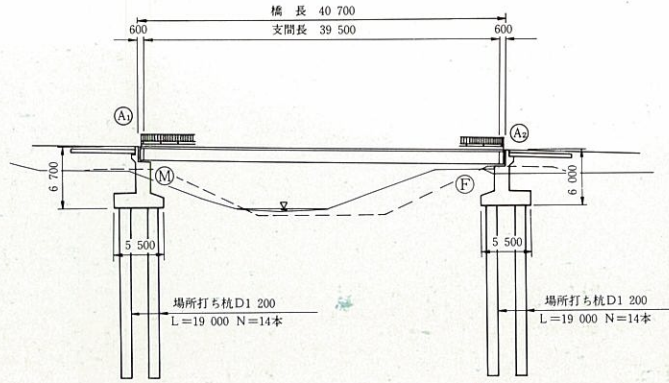
渋川橋

(単純鋼床版鈹桁)

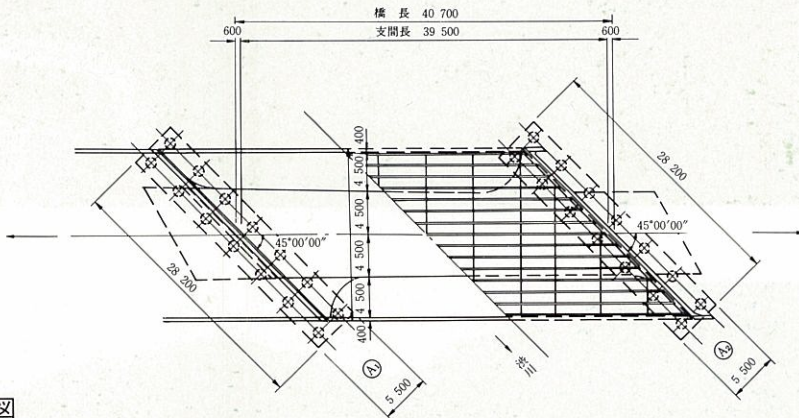


勿来岩間線は、いわき市勿来地区と植田・小名浜地区を結ぶ環状線としての機能を有する重要幹線街路であり、昭和62年度に開通した常磐自動車道のアクセス道路としても位置付けられている。昭和63年度に着手し、平成2年度に完成したもので土地利用を考慮した道路縦断計画を達成するため単純鋼床版桁を採用している。

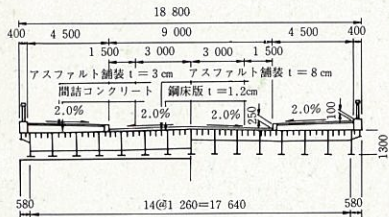
側面図



平面図



断面図



道路種別	部	路線名	勿来岩間線		総鋼重	285 t	単位面積当たり	406 kg/m ²		
位置	起点側	いわき市植田小名田			塗装種類	プライマー ジンクリッチプライマー				
	終点側	〃				下塗り エポキシ樹脂、エポキシMIO塗料 中塗り ポリウレタン樹脂塗料 上塗り ポリウレタン樹脂塗料				
河川名	2級河川	渋川(鯨川支川)	流量	170 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法				
橋長	40.700m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	39.500m				橋脚形式	-				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 + 歩道 = 全幅 4.5 + 1.5 + 3.0 + 3.0 + 1.5 + 4.5 = 18.0m				基礎工	場所打杭(φ1 200 mm)				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	350 百万円	上部工 工事費	242 百万円	下部工 工事費	81 百万円

9

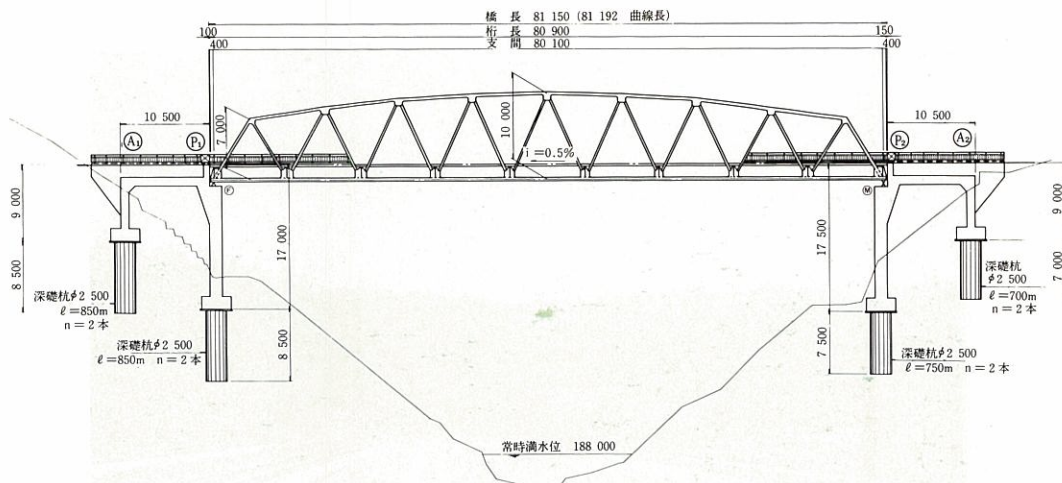
小玉大橋

(下路式曲弦トラス)

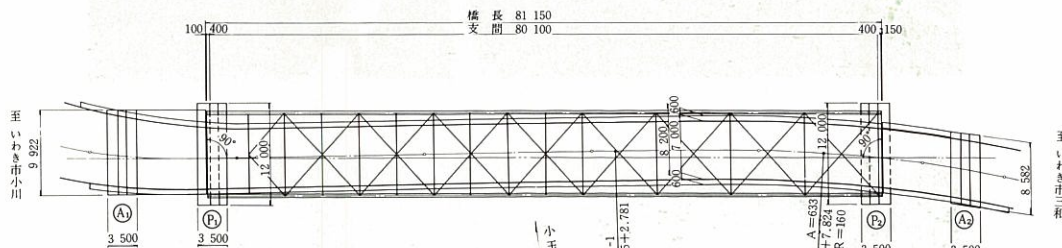


ダム景観を考慮した、いわき地方では珍しい、曲弦トラス橋で、昭和62年度完成した中根大橋と2橋つらなる。小玉ダム建設事業にて、新設した橋梁である。

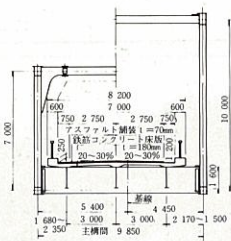
側面図



平面図



断面図



道路種別	①	路線名	明神平家ノ前線		総鋼重	251 t	単位面積当たり鋼重	442 kg/m ²		
位置	起点側	いわき市小川町西小川			塗装種類	プライマー エッチングプライマー				
	終点側	いわき市小川町高萩				下塗り 鉛系さび止めペイント 中塗り 長油性フタル酸系樹脂塗料 上塗り 長油性フタル酸系樹脂塗料				
河川名	2級河川 小玉川(夏井川支川)		流量		架設工法	ケーブルエレクション直吊り工法				
橋長	81.150m				橋台形式	鉄筋コンクリートラーメン式				
支間割	80.100m				橋脚形式	-				
幅員構成	路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 0.75 + 2.75 + 2.75 + 0.75 = 7.0 m				基礎工	深礎杭基礎(φ2,500mm)				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	381 百万円	上部工事費	238 百万円	下部工事費	114 百万円

10

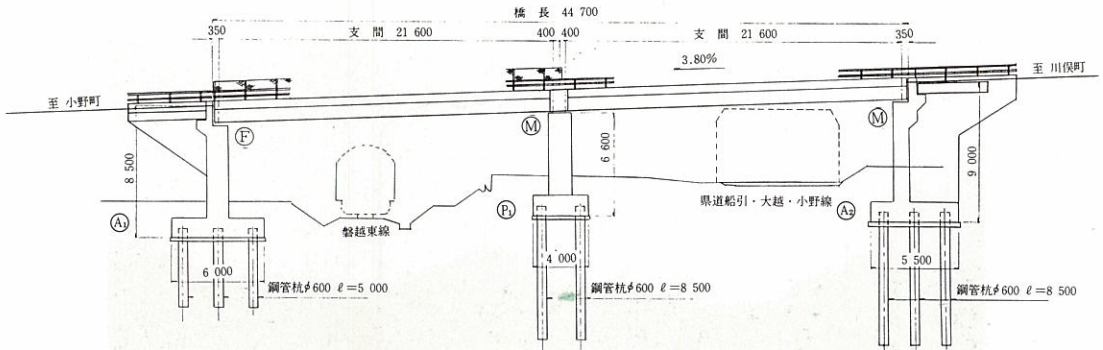
今泉跨線橋

(2径間連結PCプレ
ンT桁)

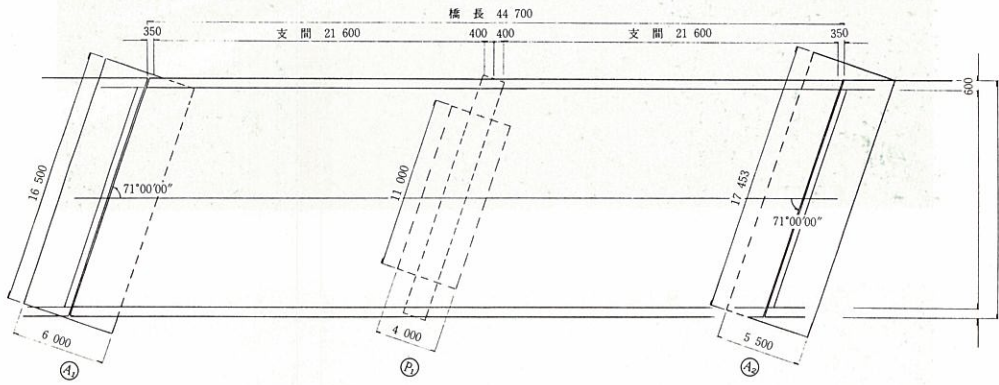


本橋は、国道改良事業船引工区の改良関連橋梁として国道橋梁整備事業にて新設されたもので、J R 磐越東線と主要地方道船引大越小野線を跨ぐ橋梁である。J R 線路上の桁架設は J R 施工、道路上の桁架設は県施工であり、深夜作業（通行止め）により施工した。平成元年度着手、平成 2 年度完了である。

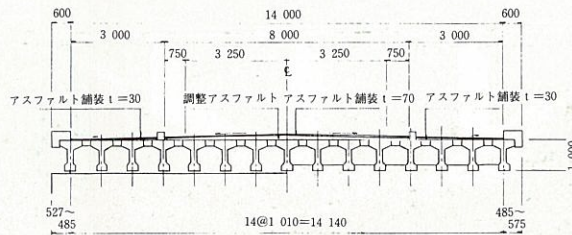
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道 3 4 9 号	桁本数	30 本	上部工	部	工事量	195 m ³
位置	起点側	田村郡船引町大字今泉		使用 PC 鋼材	P C 鋼より線 1 T 21.8				
	終点側	〃		PC 鋼材量	15,000kg				
河川名	J R 磐越東線		流量	架設工法	自走クレーン車工法				
橋長	44.700m			橋台形式	鉄筋コンクリート逆 T 式				
支間割	2 @ 21.600m			橋脚形式	鉄筋コンクリートラーメン式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 + 歩道 = 全幅 3.0 + 0.75 + 3.25 + 3.25 + 0.75 + 3.0 = 14.0m			基礎工	A1、A2：鋼管杭 (φ 600 mm)、P：鋼管杭 (φ 600 mm)				
橋格	1 等橋 (T L-20)			総事業費	176 百万円	上部工 工事費	76 百万円	下部工 工事費	68 百万円

11

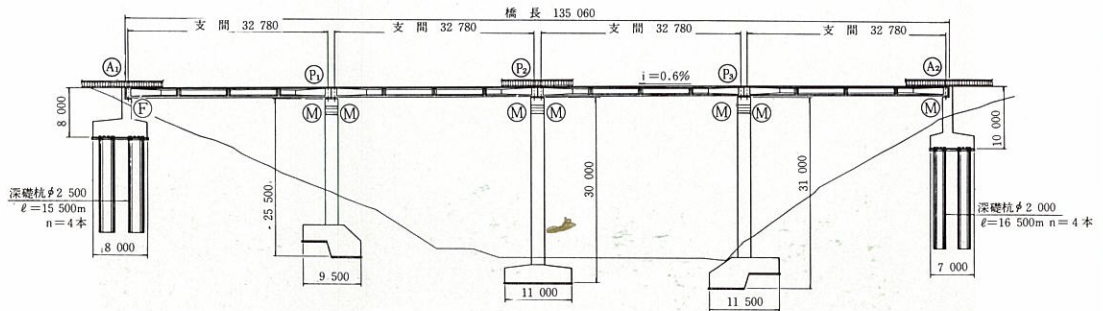
中郷橋

(4径間連結PCポスト
ンT桁)

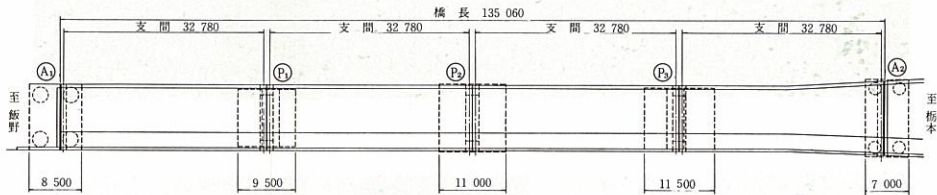


前掲の柴原橋と同様、地方道改良事業蛇石工区の改良関連橋梁であり、地方道橋梁整備事業にて平成元年度に着手し、2ヶ年で完成したものである。橋面の高さは地上約30mであり、橋上から眺める湖面と山の風景は絶景となるはずである。

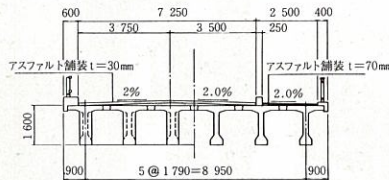
側面図



平面図



断面図



道路種別	①	路線名	飯野三春橋本線		桁本数	24本	上部工	部工	量	805 m ³	
位置	起点側	田村郡三春町大字蛇石			使用PC鋼材	P C 鋼より線12T 12.4					
	終点側	ク			PC鋼材量	35,000kg					
河川名	1級河川 大滝根川		流量		架設工法	架設術工法					
橋長	135.060m					橋台形式	A1, A2: 鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	4 @ 32.780m					橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.5 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 0.75 = 9.75m					基礎工	A1, A2: 深礎杭 (φ 2,000 ~ 2,500 mm) / P1 ~ P3: 直接基礎				
橋格	1等橋 (T L - 20)					総事業費	521 百万円	上部工 工事費	208 百万円	下部工 工事費	200 百万円

12

横向大橋

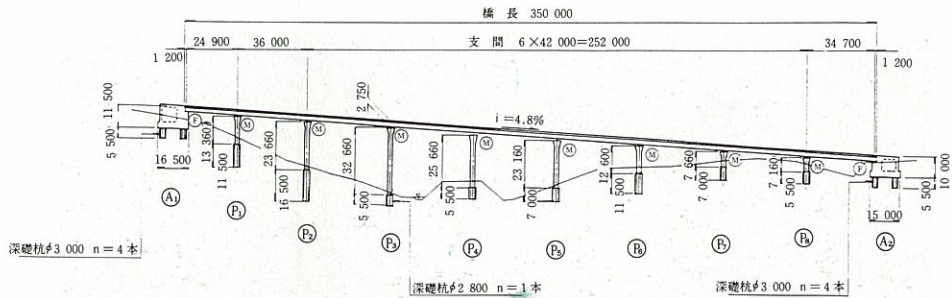
(9 径間連続 P C 箱桁)



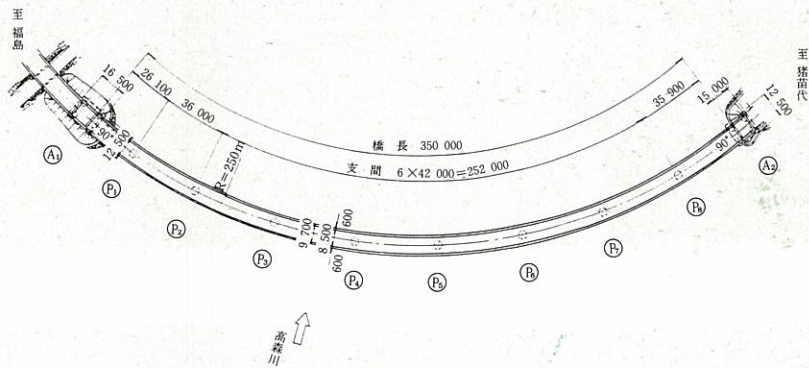
本橋の架橋地点は磐梯朝日国立公園内、土湯トンネルの猪苗代町側に位置し、大きく蛇行した線形上にある。本橋は多径間連続桁であると同時に平面線形上のアーチ形状に着目し、水平面内でのアーチ作用を活用した構造上、経済上の利点を有する橋梁である。さらに架設工法として我が国でも過去に例のない半径250mの小曲線での押し出し工法を採用している。

これらの特徴が評価され、平成2年度土木学会「田中賞」を受賞している。

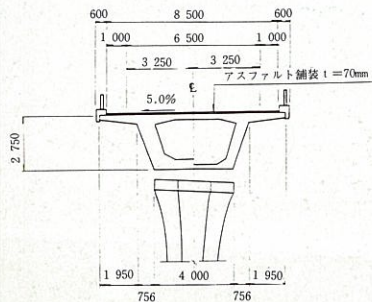
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道115号	桁本数	1連ボックス	土コンクリート工量	2,540 m ³
位置	起点側	耶麻郡猪苗代町大字若宮		使用PC鋼材	架設用SEEE F 130、連続用SEEE F 310、P C鋼棒 B種 2号 φ32		
	終点側	〃		PC鋼材量	SEEE F 130 (91,500kg)、SEEE F 310 (32,200kg) P C鋼棒 (61,900kg)		
河川名	普通河川 高森川		流量	75 m ³ /sec	架設工法		
橋長	350.000m			押し出し工法(反力集中管理方式)			
支間割	24.900+36.000+6@42.000+34.700m			橋台形式			
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.25+3.25+1.0=8.5 m			橋脚形式			
橋格	1等橋(TL-20)			基礎工			
				A1、A2、P1~P8：深礎基礎(φ2 800~3 000mm)			
				総事業費		1,430 百万円	
				上部工事費		1,123 百万円	
				下部工事費		307 百万円	

13

濁川橋

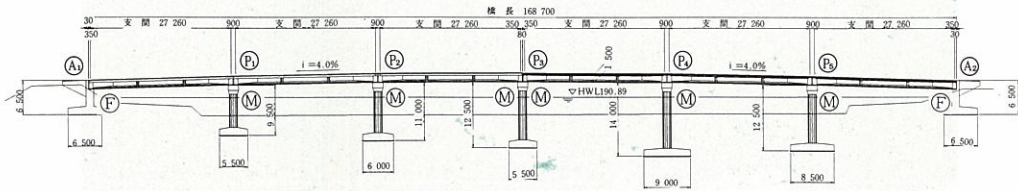
(3径間連結PCポステ
ンT桁2連)



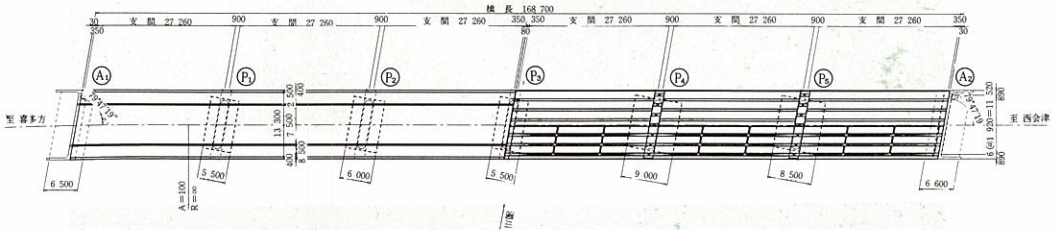
濁川橋は喜多方市内を南北に流れる濁川に架る橋梁で、昭和9年に架設されたため全体に老朽化が進み補修を余儀なくされていた。また、濁川の河川改修計画があり、河川幅もW=140mから約170mに改修するため中小河川改良事業と緊急地方道整備事業の合併工事にて架替を実施した。

本橋は、支間長30m未満ではほぼ等径間かつ斜角がほぼ80°であったため、3径間連結桁橋として走行性を高めている。

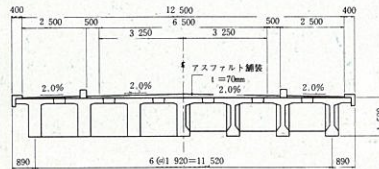
側面図



平面図



断面図



道路種別	①	路線名	喜多方西会津線		桁本数	42本	上部工 コンクリート工量	1,188 m ³		
位置	起点側	喜多方市豊川町米室			使用PC鋼材	PC鋼より線12T12.4				
	終点側	喜多方市慶徳町豊岡			PC鋼材量	51,400kg				
河川名	1級河川	濁川(阿賀川支川)	流量	945 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車工法				
橋長	168.700m				橋台形式	A1, A2: 鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	6 @ 27.260m				橋脚形式	P1~P5: 鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 + 歩道 = 全幅 12.5 m				基礎工	直接基礎				
橋格	一等橋(TL-20)				総事業費	690 百万円	上部工 工事費	260 百万円	下部工 工事費	430 百万円

14

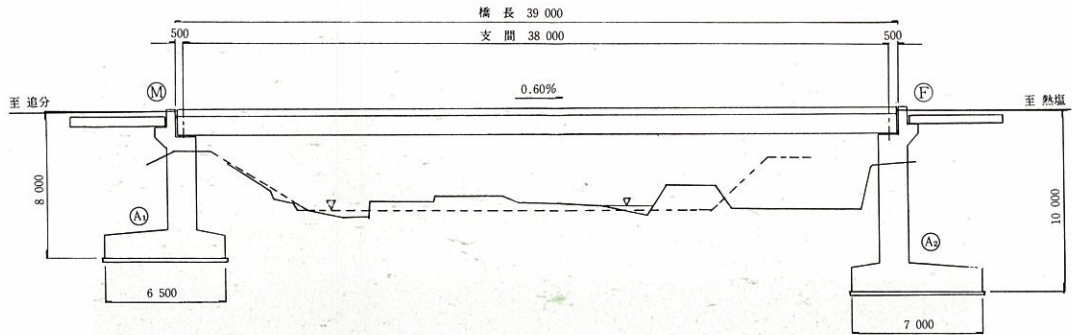
熱塩橋

(単純PCポステン箱
桁<バイプレ工法>)

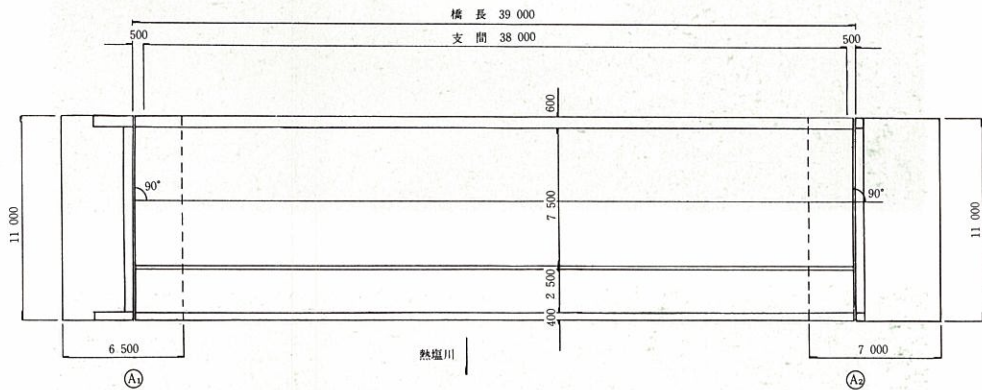


本橋は道路縦断と河川断面から桁高に制約を受けており、また桁長 $L=39\text{m}$ と長いため、桁製作には、県内初のパイプレ工法を採用した。本橋の完成により、片側交互通行が解除され、会津の奥座敷として親しまれている熱塩温泉郷や曹洞宗寺の示現寺に、多くの観光客や参拝者が訪れている。親柱の彫刻は村の花「ひめさゆり」である。

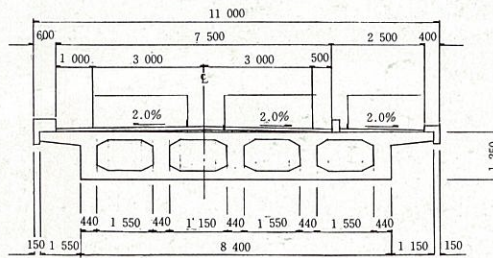
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊖	路線名	熱塩温泉追分線		桁本数	一本	上部工	部	工 <td>量</td> <td>298 m³</td>	量	298 m ³	
位置	起点側	耶麻郡熱塩加納村大字熱塩字間間ノ上			使用PC鋼材	引張鋼材	P C 鋼より線		12 T 12.4			
	終点側	耶麻郡熱塩加納村大字熱塩字向川原上			PC鋼材量	圧縮鋼材	P C 鋼棒		φ 32 (6,900kg)			
河川名	1級河川	押切川(阿賀川支川)	流量	130 m ³ /sec	架設工法	オールステージング工法						
橋長	39,000m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式						
支間割	38,000m				橋脚形式							
幅員構成	路肩 1.0 + 車道 3.0 + 車道 + 路肩 3.0 + 歩道 0.5 + 歩道 2.5 = 全幅 10.0m				基礎工	直接基礎						
橋格	1等橋(T L - 20)				総事業費	256 百万円	上部工 工事費	83 百万円	下部工 工事費	173 百万円		

15

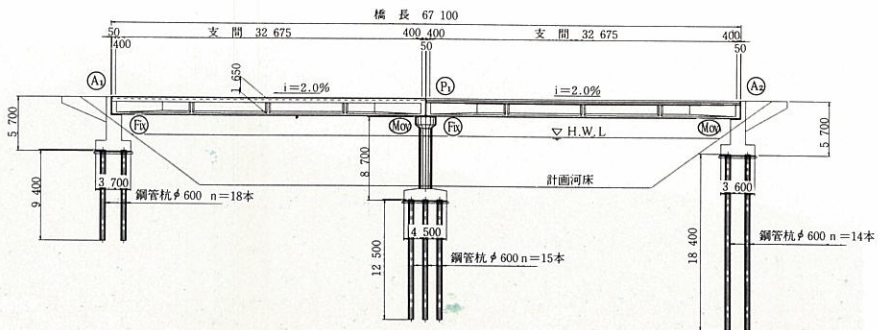
館の内橋

(単純PCポステンT桁)

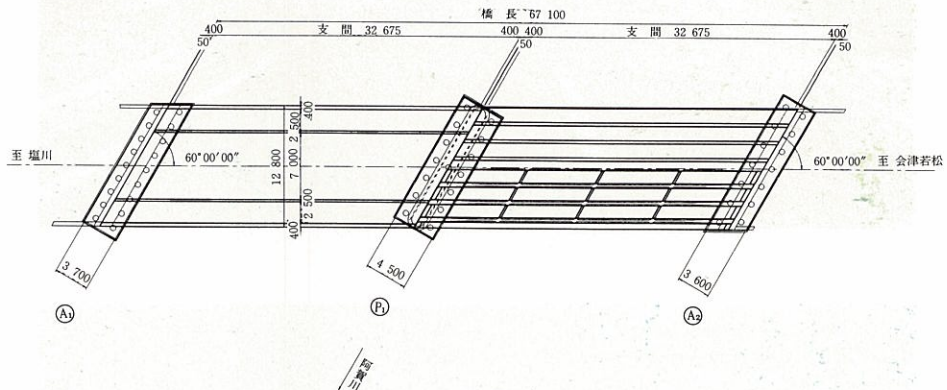


本橋は、老朽化が進んでいたうえ、幅員が狭く冬期交通の確保に支障をきたしていた。これを解消するため地方道橋梁整備事業と小規模河川改良事業の合併にて平成元年度に工事に着手し、平成2年度に完成したものである。

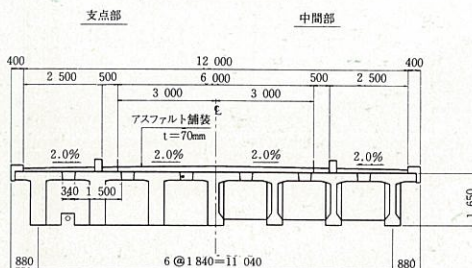
側面図



平面図



断面図

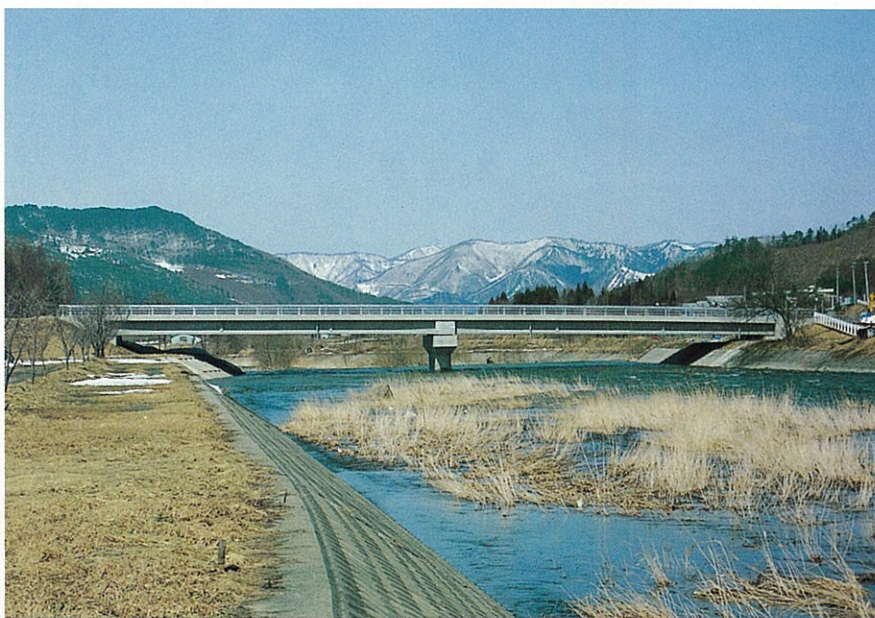


道路種別	⊖	路線名	浜崎高野会津若松線		桁本数	14本	上部工	コンクリート量	429 ^{m³}	
位置	起点側	河沼郡湯川村大字箕川			使用PC鋼材	PC鋼より線12T12.4、1T19.3				
	終点側	〃			PC鋼材量	20,340kg				
河川名	1級河川	湖川(阿賀野川支流)	流量	400 ^{m³/sec}	架設工法	架設工工法				
橋長	67.100m				橋台形式	A1、A2：鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	32.675+32.675m				橋脚形式	P：鉄筋コンクリート壁式				
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩車=全幅 2.5+0.5+3.0+3.0+0.5+2.5=12.0m				基礎工	A1、A2、P：鋼管杭基礎(φ600 ^{m/m})				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	203	上部工 工事費	71	下部工 工事費	35

16

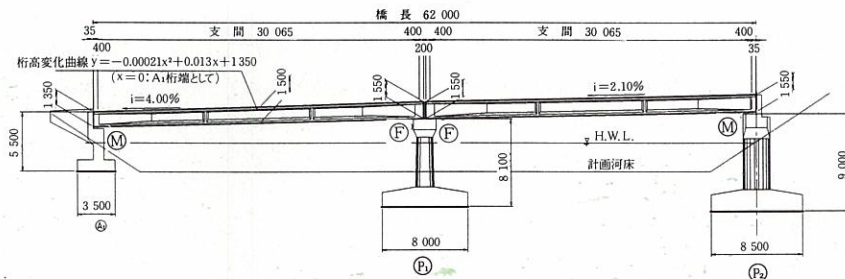
荒海橋

(2径間連結PCポステ
ンT桁)

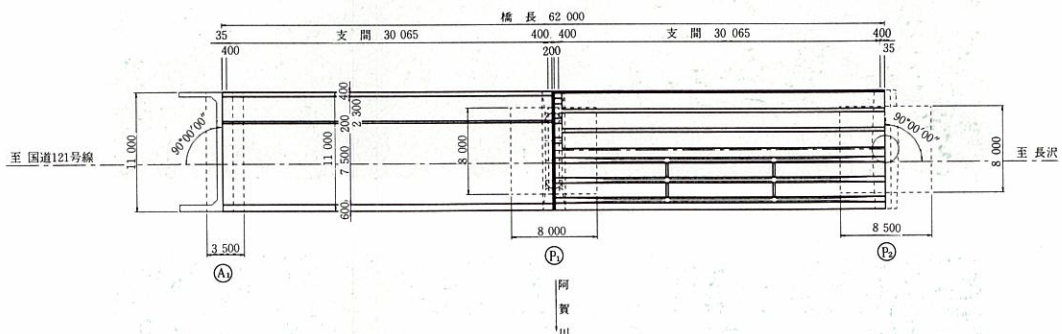


旧橋は幅員狭小なうえ、橋桁の老朽化が著しく、車両の安全な通行に支障をきたしており、近年のモータリゼーションの発達とあいまって、架け替えが強く望まれていた。本橋は橋長62.0m、幅員6.0（10.0）mのPC橋で、円滑な交通を確保するとともに地域住民の生活向上と発展のため、市町村道整備事業にて架け替えられたものである。

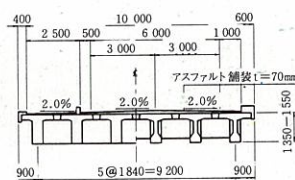
側面図



平面図



断面図



道路種別	④	路線名	古内長沢山線		桁本数	12本	上部工	部	工量	273 m ³	
位置	起点側	南会津郡田島町大字糸沢			使用PC鋼材	PC鋼より線 1 T 17.8					
	終点側	〃			PC鋼材量	12.852kg					
河川名	1級河川 阿賀川		流量	680 m ³ /sec	架設工法	架設術工法					
橋長	62.000m					橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	2 @ 30.065m					橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.5 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 0.5 = 10.0 m					基礎工	直接基礎				
橋格	1等橋 (TL-20)					総事業費	292 百万円	上部工 工事費	164 百万円	下部工 工事費	36 百万円

17

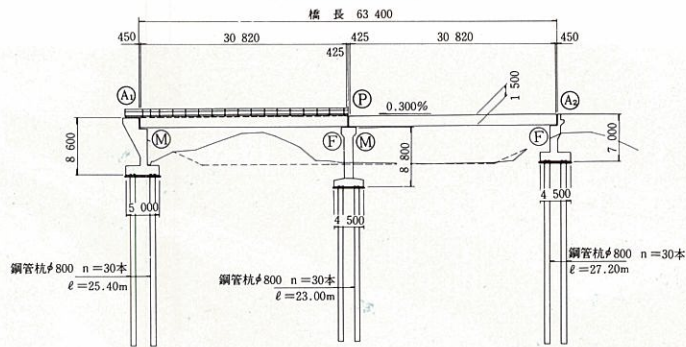
地蔵川橋

(単純PCポステンT桁)

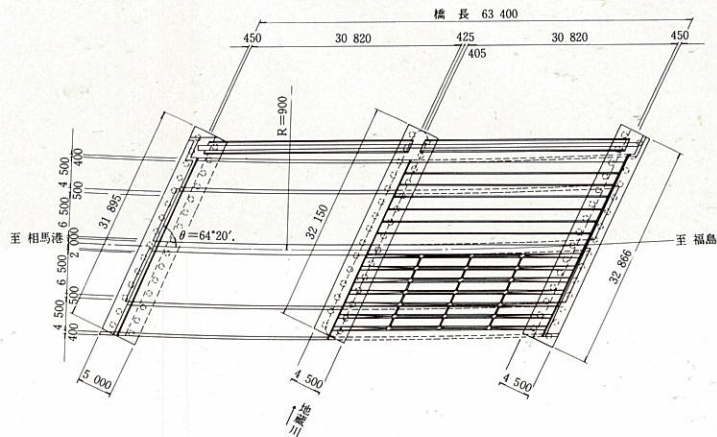


相馬市内を通る現一般国道113号は、古くから城下町の骨格道路として形成されたため、幅員が狭く屈曲も多い城下町特有の道路で、交通渋滞が著しく近年の交通需要に対応できない状況にある。これを解消し幹線道路網のネットワークを形成すべく、延長L=4.4kmの相馬バイパスが計画された。このバイパス内にある本橋は、改良関連橋梁として国道橋梁整備事業にて平成元年度に着手し、平成2年度に完成したものである。

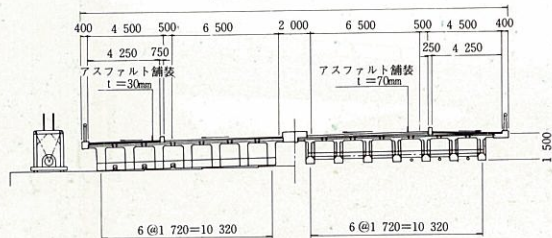
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道113号		桁本数	14本	上部工	コンクリート量	833 m ³	
位置	起点側	相馬市長老内字大森			使用PC鋼材	PC鋼より線 12T12.4				
	終点側	相馬市塚部字古川尻			PC鋼材量	39,500kg				
河川名	2級河川 地蔵川		流量	280 m ³ /sec	架設工法	架設桁工法				
橋長	63.400m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	2@30.820m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道+路肩+車道+中央帯+車道+路肩+歩道=全幅 4.5+0.5+6.5+2.0+6.5+0.5+4.5=25.0m				基礎工	鋼管杭基礎(ø800 m/m)				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	431 百万円	上部工 工事費	187 百万円	下部工 工事費	244 百万円

18

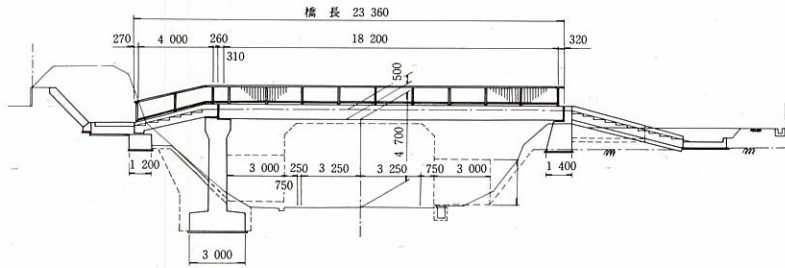
朝日台歩道橋

(単純P C中空床版)

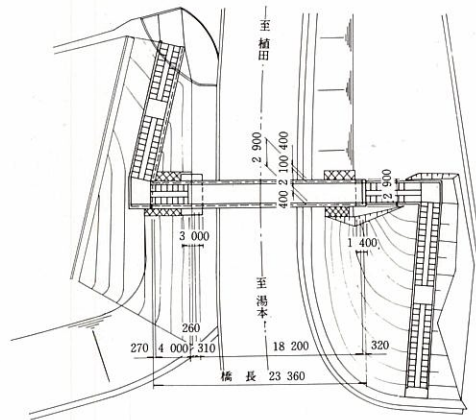


本橋架設箇所は、近年の団地造成により通行車両数が増加し、自動車及び歩行者の通行に支障を期たしていた。そのため、安全に歩行できる交通路の整備が強く望まれ周りの景観との調和を考慮しながら、交通安全施設一種事業にて整備を行ったものである。

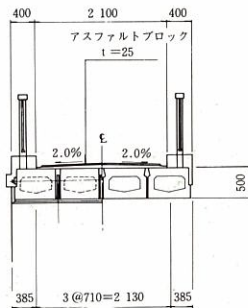
側面図



平面図



断面図



道路種別	③	路線名	いわき上三坂小野線	桁本数	4本	上部工	コンクリート	工量	11 ^m		
位置	起点側	いわき市金山町字朝日台254		使用PC鋼材	P C 鋼より線12T12.4 P C 鋼棒 φ25						
	終点側	〃		PC鋼材量	12T12.4 (92kg)、φ25 (64kg)						
河川名				架設工法	自走クレーン車工法						
橋長	23.360m			橋台形式	鉄筋コンクリート重力式						
支間割	4.000+18.200m			橋脚形式	鉄筋コンクリート逆T式						
幅員構成	歩道 2.1 m			基礎工	A1、A2、P1：直接基礎						
橋格	歩道橋			総事業費	29 百万円	上部工	工事費	9 百万円	下部工	工事費	17 百万円





2 平成3年度に完了した主な橋梁



1

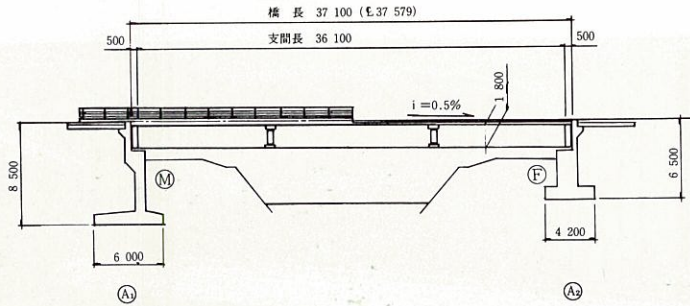
宮ノ前橋

(単純非合成鈹桁)

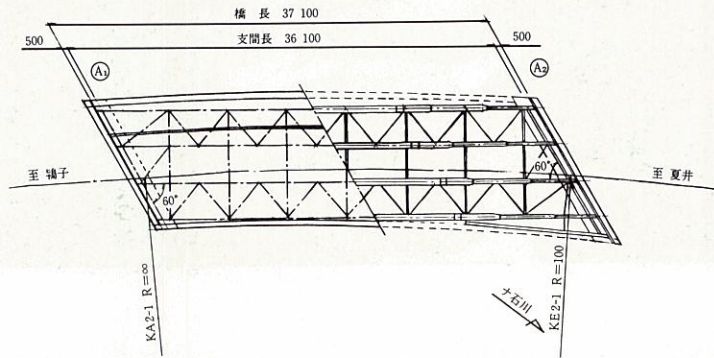


鴿子夏井停車場線は、小野町J R夏井駅から、石川郡平田村（一般国道49号線）方面に通じる路線であるが、宮ノ前橋は幅員も狭小で老朽化し、道路交通上危険となっていたため、平成元年度に緊急地方道整備事業にて着手し、平成3年度に完了した。

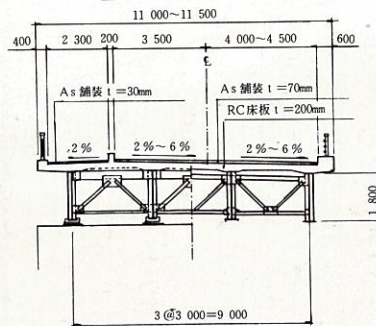
側面図



平面図



断面図

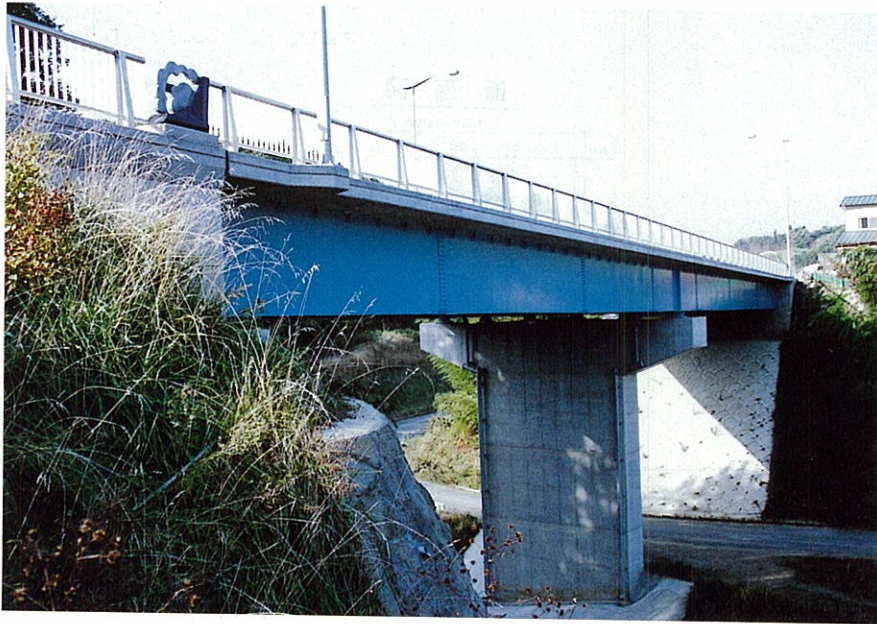


道路種別	○	路線名	鴿子夏井(停)線		総鋼重	82 t	単位面積当たり鋼重	212 kg/m ²		
位置	起点側	田村郡小野町大字南田原井			塗装種類	プライマー エッチングプライマー				
	終点側	田村郡小野町大字夏井				下塗り 鉛系止めペイント	中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料		上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料	
河川名	2級河川	十石川(夏井川支川)	流量	100 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法				
橋長	37.100m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	36.100m				橋脚形式	-				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.5 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 1.0 = 10.0m				基礎工	A1、A2：直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	222 百万円	上部工事費	72 百万円	下部工事費	22 百万円

2

狸森橋 (空港3号橋)

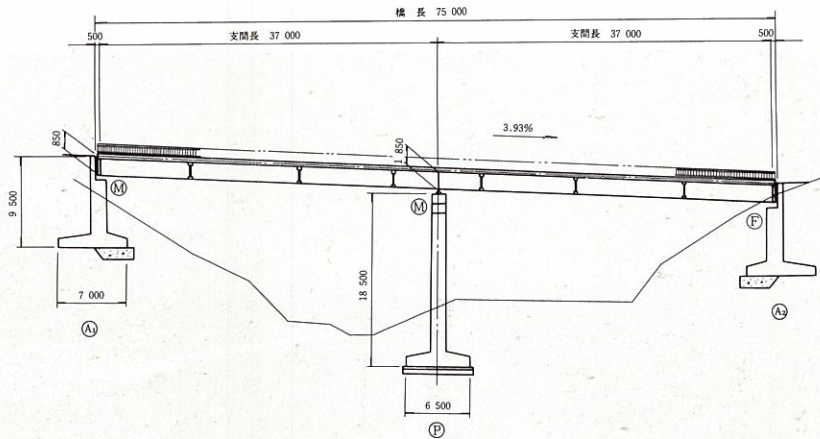
(2径間連続非合成鈹桁)



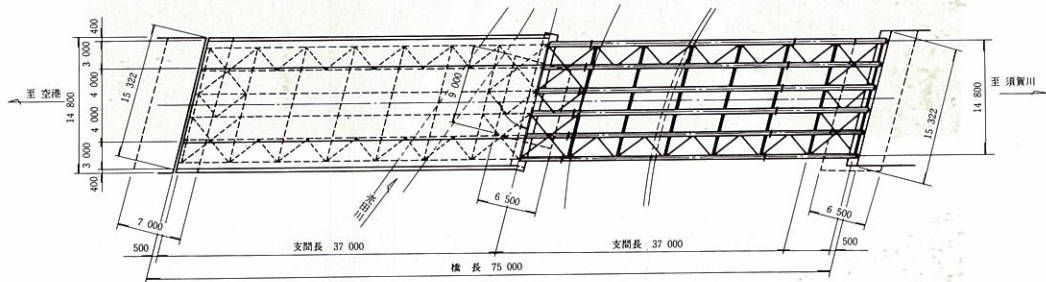
本橋は、福島空港の東側アクセス道路である一般県道古殿須賀川線の改良工事に伴い、市道Ⅱ-27号及び普通河川売田側を跨ぐために緊急地方道整備事業にて新設された橋梁である。

塗装色は「空へ」をイメージし、スカイブルーとした。

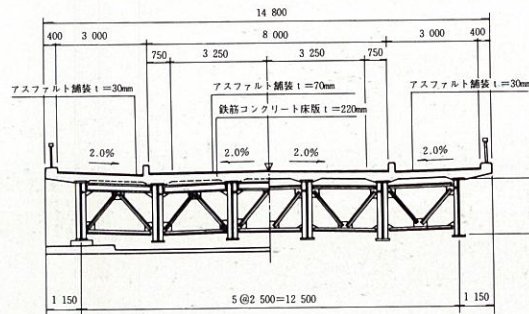
側面図



平面図



断面図



道路種別	○	路線名	古殿須賀川線		総鋼重	178 t	単位面積当たり重	170 kg/m ²		
位置	起点側	須賀川市大字狸森			塗装種類	プライマー エッチングプライマー 下塗り 鉛系さび止めペイント 中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料				
河川名	普通河川	売田川	流量	50 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法				
橋長	75,000m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	37,000+37,000m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出し式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 + 歩道 = 全幅 3.0 + 0.75 + 3.25 + 3.25 + 0.75 + 3.0 = 14.0 m				基礎工	A1、A2、P1：直接基礎				
橋格	1等級(TL-20)				総事業費	272 百万円	上部工事費	171 百万円	下部工事費	62 百万円

3

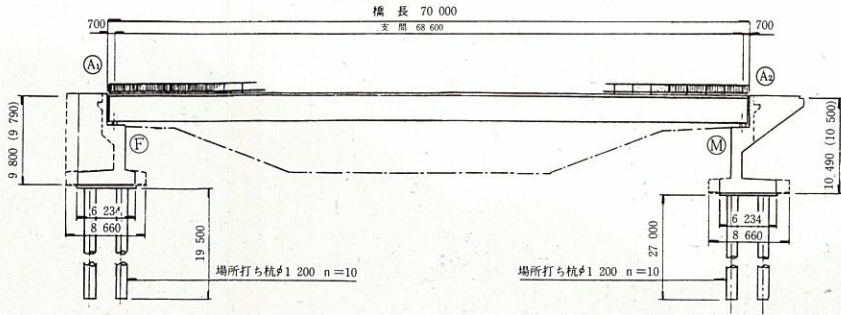
新 湊 橋

(単純鋼床版箱桁)

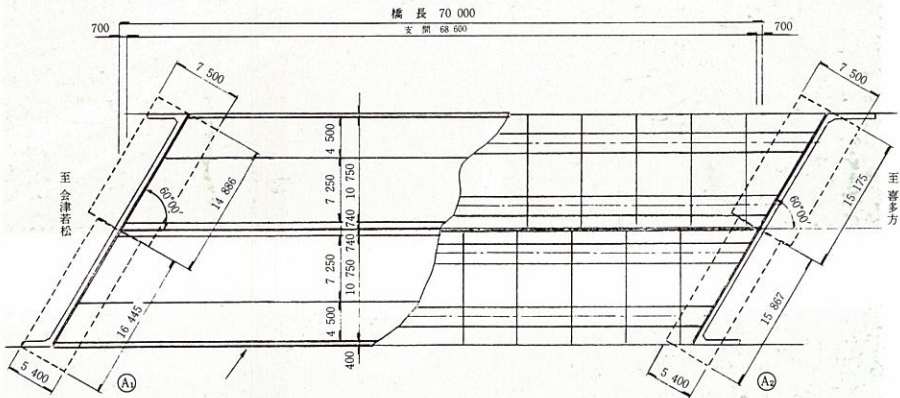


磐城自動車道の猪苗代IC～会津坂下ICは、平成4年10月に開通し、会津地方もようやく高速交通網に組みこまれた。本橋は、会津若松ICのアクセス道路として整備を続けてきた国道改良事業会津若松工区の改良関連橋梁として、国道橋梁整備事業にて平成元年度に着手し、平成3年度に完了したものである。

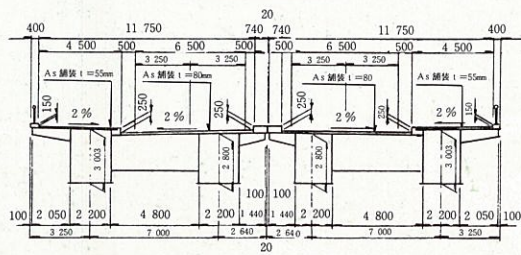
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道121号	総鋼重	785 t	単位面積当たり鋼重	477 kg/m ²
位置	起点側	会津若松市高野町大字中野		塗装種類	プライマー	エッチングプライマー	
	終点側	会津若松市高野町大字木流			下塗り	鉛系さび止めペイント	
河川名	1級河川	潤川(阿賀野川支川)	流量	架設工法	中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
橋長	70,000m			橋台形式	上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
支間割	68,600m			橋脚形式	クローラクレーン架設		
幅員構成	歩道+路肩+車道+中央帯+車道+路肩+歩道=全幅 4.5+0.5+6.5+2.0+6.5+0.5+4.5=25.0m			基礎工	直接基礎、場所打杭基礎(φ1200 mm)		
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	829 百万円	上部工工事費	628 百万円
						下部工工事費	121 百万円

4

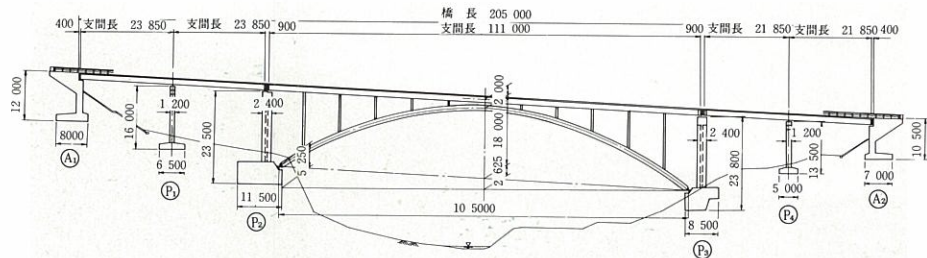
田人大橋

(逆口一セ桁十2径間連)
(続非合成鋸桁2連)

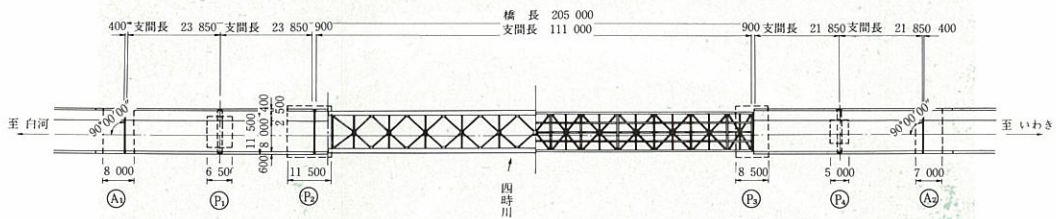


いわき建設事務所管内における一般国道289号は、四時川の渓谷をぬっている地形上、幅員が狭くカーブも小さく、更に勾配も急な状況となっており、沿線の都市化の進展や常磐高速自動車の開通に伴う著しい交通量の増加に対応できなくなっている。このような交通状況を解消するため、国道改良事業田人工区が計画され、改良関連橋梁として国道橋梁整備事業にて新設されたものである。

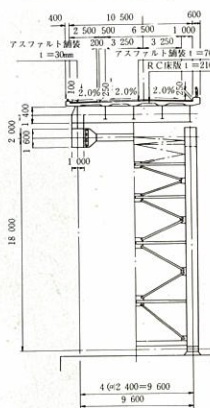
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道289号		総鋼重	571 t	単位面積当たり	ローゼ桁	426 kg/m ²	
位置	起点側	いわき市田人町南大平辺梁			塗装種類	プライマー エッチングプライマー 下塗り 鉛系さび止めペイント、フェノール樹脂MIO塗料 中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料	重	鋼	桁	145
	終点側	いわき市田人町南大平坪ノ内								
河川名	2級河川	四時川(鮫川支川)	流量	650 m ³ /sec	架設工法	(ローゼ桁)ケーブルエレクション斜吊工法 (鋼) 自走クレーン車によるスタンジング工法				
橋長	205.000m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	2 @ 23.850 + 111.000 + 2 @ 21.850m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.5 + 0.5 + 3.25 + 3.25 + 1.0 = 10.5m				基礎工	直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)				総事業費	871 百万円	上部工 工事費	632 百万円	下部工 工事費	134 百万円

5

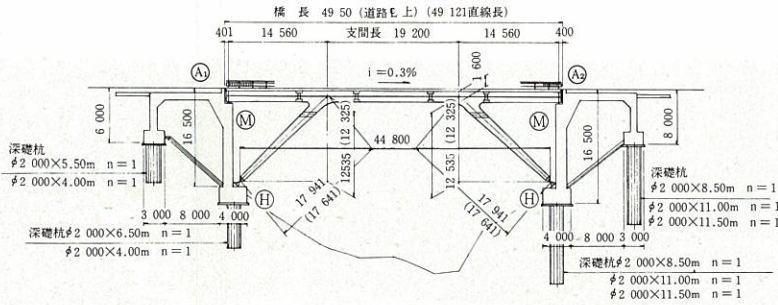
御 齋 所 橋

(鋼方杖ラーメン)

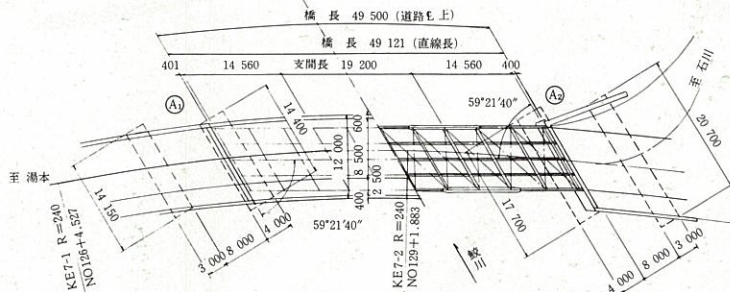


主要地方道いわき石川線はいわき市常磐湯本町を起点とし、石川町長久保を終点とするが、その先線の福島空港と小名浜港湾を結ぶ意味で非常に重要な路線である。しかし御斎所峠は現道幅員が狭く線形不良のため、年々交通量の増加に対応できない現況にある。本橋は地方道改良事業御斎所工区の改良関連橋梁として地方道橋梁整備事業にて平成元年度に着手し、平成3年度に完了したものである。

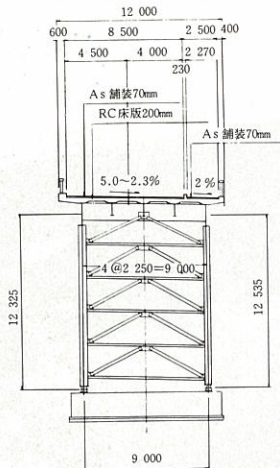
側面図



平面図



断面図



道路種別	①	路線名	いわき石川線	総鋼重	164 t	単位面積当たり重	301 kg/m ²
位置	起点側	いわき市遠野町大平字美古		塗装種類	プライマー 下塗り 中塗り 上塗り	エッチングプライマー 鉛系さび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料 長油性フタル酸樹脂塗料	
河川名	終点側		流量	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法		
橋長	49.500m			橋台形式	鉄筋コンクリートラーメン式		
支間割	14.560+19.200+14.560m			橋脚形式	-		
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道+全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+2.50=11.0m			基礎工	深礎杭基礎(φ2,000mm)		
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	352 百万円	上部工事費	153 百万円
						下部工事費	143 百万円

6

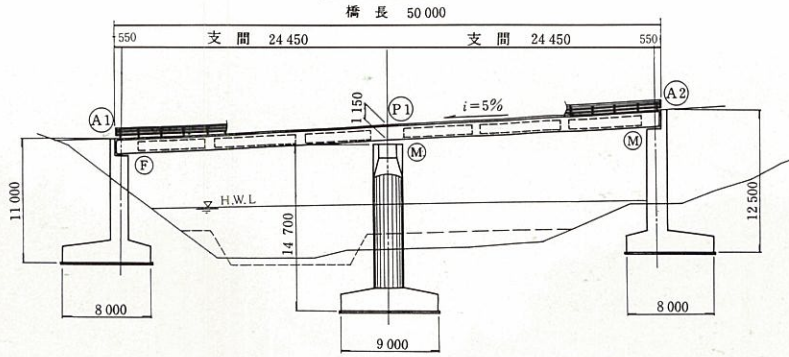
土鍋橋

(2径間連続PC中空床版)

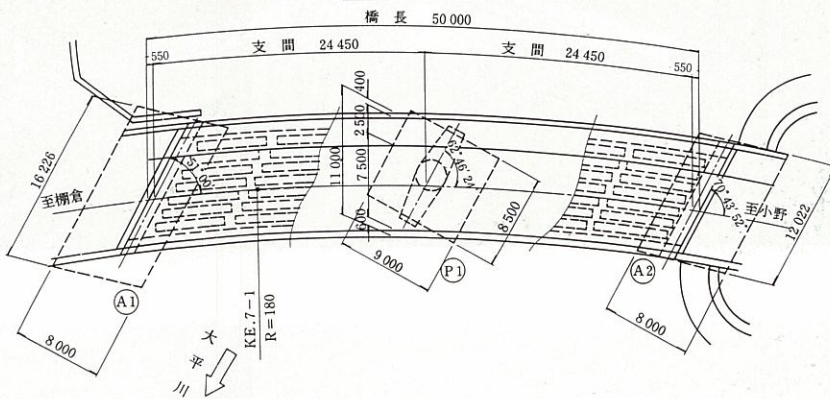


一般国道349号は、阿武隈山系地域を南北に縦断する幹線道路であるが、古殿町土鍋地内は幅員狭小かつ線形不良なため交通の隘路となっている。これを解消するため、昭和60年度から国道特殊改良一種事業によりバイパス工事に着手した。本橋は、昭和63年度に着手し、平成3年度に完成したものである。

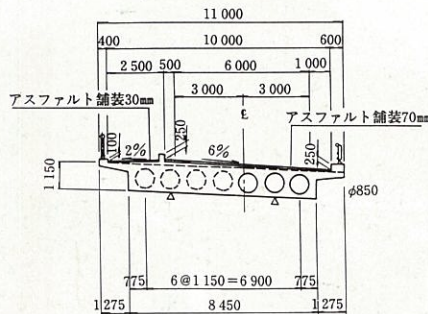
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道349号		桁本数	一本	上部工	部	工事費	412 ㎡
位置	起点側	東白川郡古殿町大字山上字土鍋			使用PC鋼材	PC鋼より線12T12.4				
	終点側	〃			PC鋼材量	10,950kg				
河川名	2級河川	大平川(鮫川支川)	流量	115 ㎥/sec	架設工法	オールステーキング工法				
橋長	50.000m				橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	2 @ 24.450m				橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.5 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 1.0 = 10.0m				基礎工	直接基礎				
橋格	1等橋 (TL-20)				総事業費	189 百万円	上部工事費	77 百万円	下部工事費	73 百万円

7

須釜橋 (空港1号橋)

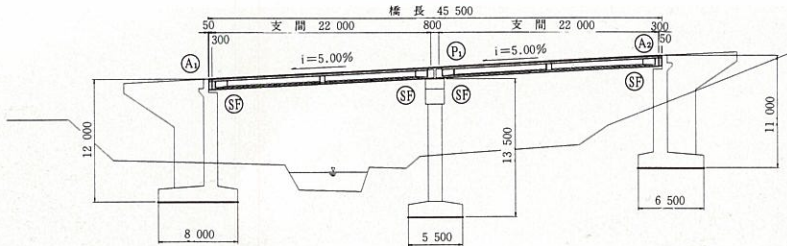
(2径間連結PCプレテ
ンT桁)



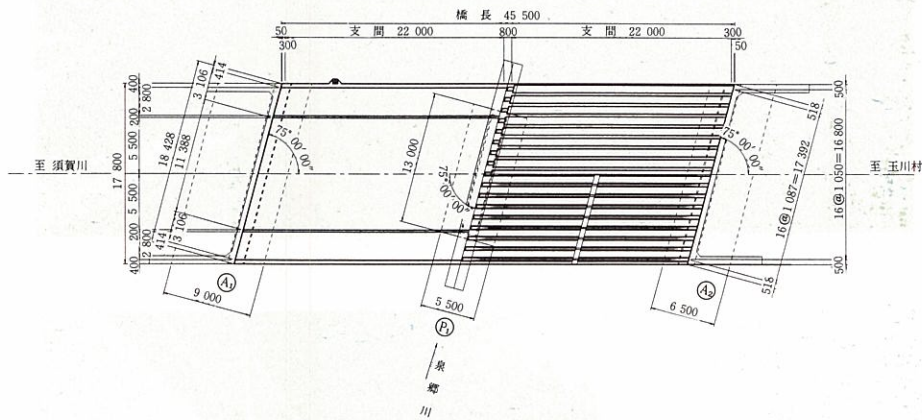
本橋は、福島空港の東側アクセス道路である一般県道古殿須賀川線の改良工事に伴い、一級河川泉郷川と一般県道千五沢矢吹線を跨ぐために、地方道橋梁整備事業にて新設された橋梁である。

主桁は、PCプレテンション方式のT桁であるが、走行性を考慮し連結構造とした。

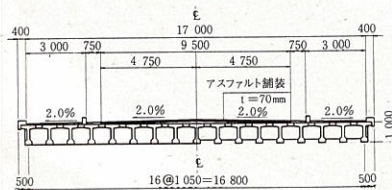
側面図



平面図



断面図



道路種別	○	路線名	古殿須賀川線		桁本数	34本	上部工	部	工事費	341 ㎡	
位置	起点側	石川郡玉川村大字南須釜字兔田			使用PC鋼材	PC鋼より線1T21.8					
	終点側	〃			PC鋼材量	23,870kg					
河川名	1級河川 泉郷川		流量	80 m ³ /sec	架設工法	自走クレーン車工法					
橋長	45.500m					橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	2 @ 22.000m					橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式				
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 車道 + 路肩 + 歩道 = 全幅 3.0 + 0.75 + 3.25 + 3.0 + 3.25 + 0.75 + 3.0 = 17.0m					基礎工	A1、P1、A2：直接基礎				
橋格	1等橋 (TL-20)					総事業費	202 百万円	上部工 工事費	101 百万円	下部工 工事費	77 百万円

8

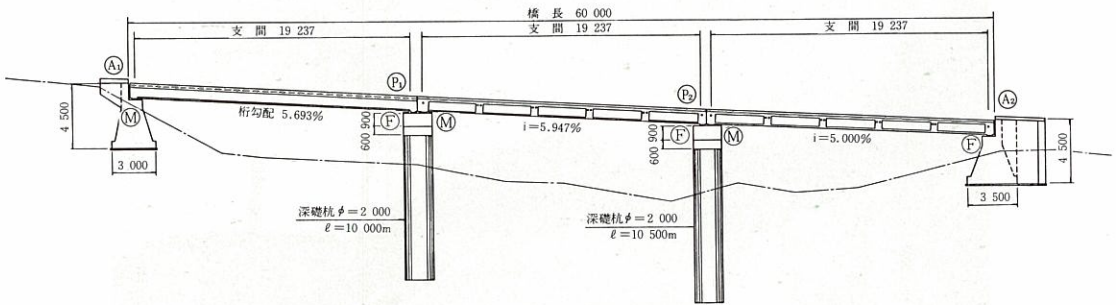
野上橋

(単純PCプレテン中空)
床版

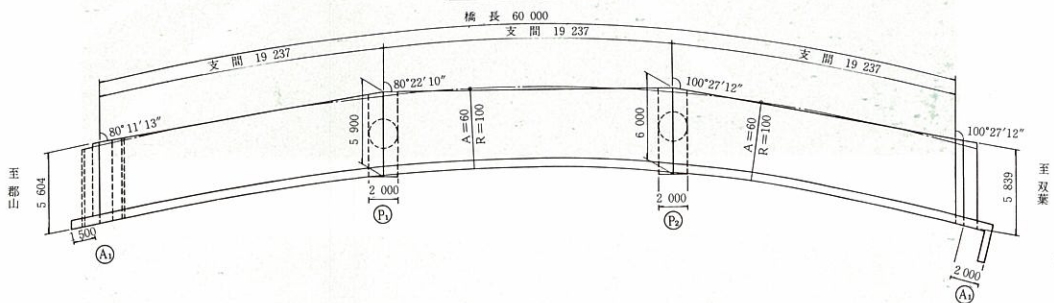


一般国道288号は相双と県中を結ぶ重要な路線であるが、望洋平工区は幅員狭小かつ線形不良なため、国道特殊改良一種事業にて改築を進めてきた。本橋はその一環として施工されたものであり、擁壁等との比較検討もなされたが、地形が急峻なため、片側一車線が、橋梁となったものである。本橋の完成により、平成4年度には工区が完了し、一般交通の利便性、安全性に寄与している。

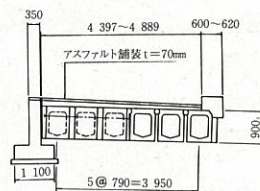
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	一般国道288号	桁本数	18本	上部工 コンクリート量	127 m ³	
位置	起点側	双葉郡大熊町大字野上字望洋平		使用PC鋼材	PC鋼より線12T12.4			
	終点側	〃		PC鋼材量	6,800kg			
河川名	〃			架設工法	自走クレーン車架設工法			
橋長	60.000m			橋台形式	鉄筋コンクリート重力式			
支間割	3@19.237m			橋脚形式	鉄筋コンクリート張出式			
幅員構成	1.25+0.5+3.248~3.742			基礎工	直接基礎、深礎杭基礎($\phi 2 000\text{mm}$)			
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	67 百万円	上部工 工事費	42 百万円 下部工 工事費	25 百万円

9

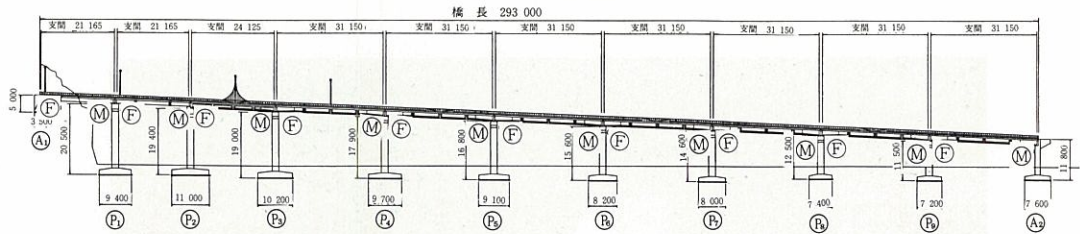
サンマリーナブリッジ
SUNMARINA BRIDGE

(単純非合成鋼箱桁十単)
純PCポステン合成桁十
単純PCポステンT桁

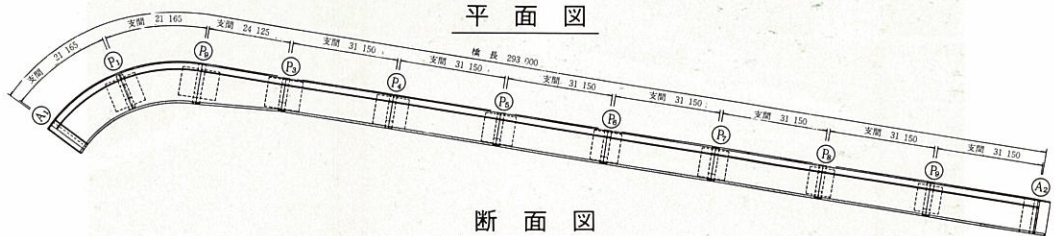


当施工区域は、小名浜港の南端に位置し、近年の海洋性レクリエーション需要の増大に対処するとともに、平成7年度の福島国体のヨット競技会場として、マリーナ施設を中心に整備を進めている。本橋は、陸域アクセスとしてオナハマ・サン・マリーナの玄関口に位置するとともに、海域から望むと当マリーナのシンボルの施設となっているため、アメニティー要素の高い修景を考慮した。

側面図

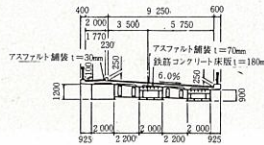


平面図

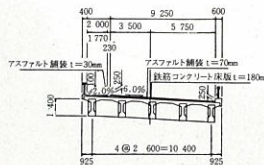


断面図

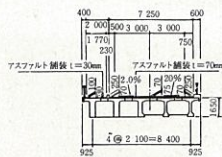
(A₁橋台～P₁橋脚)



(P₂橋脚～P₃橋脚)



(P₉橋脚～A₂橋台)



道路種別	臨港道路	路線名	臨港剣浜線	塗装種類	プライマー 下塗り 中塗り 上塗り	ジンクリッチプライマー エポキシ樹脂塗料 ポリウレタン樹脂塗料 ポリウレタン樹脂塗料
位置	起点側	いわき市泉町下川字剣浜		架設工法	自走クレーン車によるステー징工法	
	終点側	〃		橋台形式	A1：無筋コンクリート重力式 A2：鉄筋コンクリート逆T式	
河川名	流量			橋脚形式	P1～P9：鉄筋コンクリート張出式	
橋長	293.000m			基礎工	直接基礎	
支間割	2 @ 21.165 + 24.125 + 7 @ 31.15m			総事業費	740 百万円	上部工工事費 538 百万円 下部工工事費 202 百万円
幅員構成	歩道 + 路肩 + 車道 + 車道 + 路肩 = 全幅 2.0 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 0.75 = 9.25m			桁本数	40本	上部工 コンクリート量 1,216 m ³
橋格	1等橋 (T L - 20)			使用PC鋼材	P C 鋼より線 12 T 12.4、1 T 19.3	
総鋼重	122 t	単位面積当たり 鋼	226 kg/m ²	PC鋼材量	52,984 kg	

10

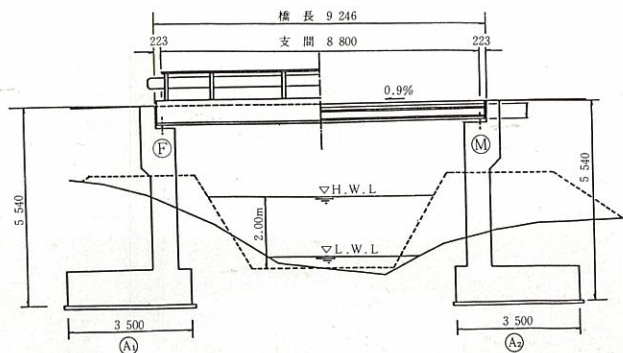
奥田橋

(単純PCプレテンI桁)

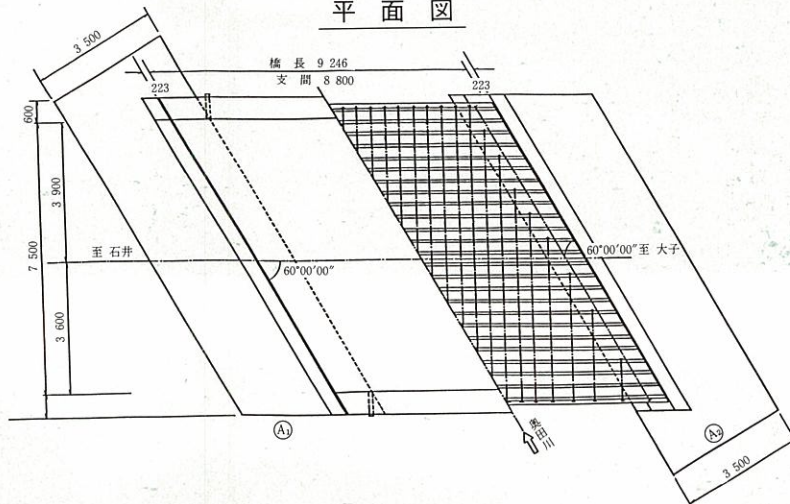


旧橋は昭和43年に架設されたものであるが、幅員が狭いため近年の交通量の増大に対応すべく、平成3年度に緊急地方道整備事業にて架け替えられたものである。PCプレテンI桁は、JISの改訂にともない、今後はみられない形式となってしまった。

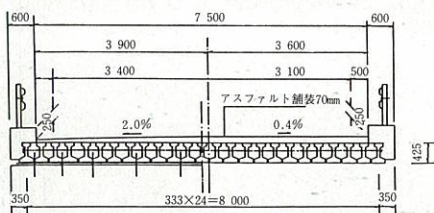
側面図



平面図



断面図

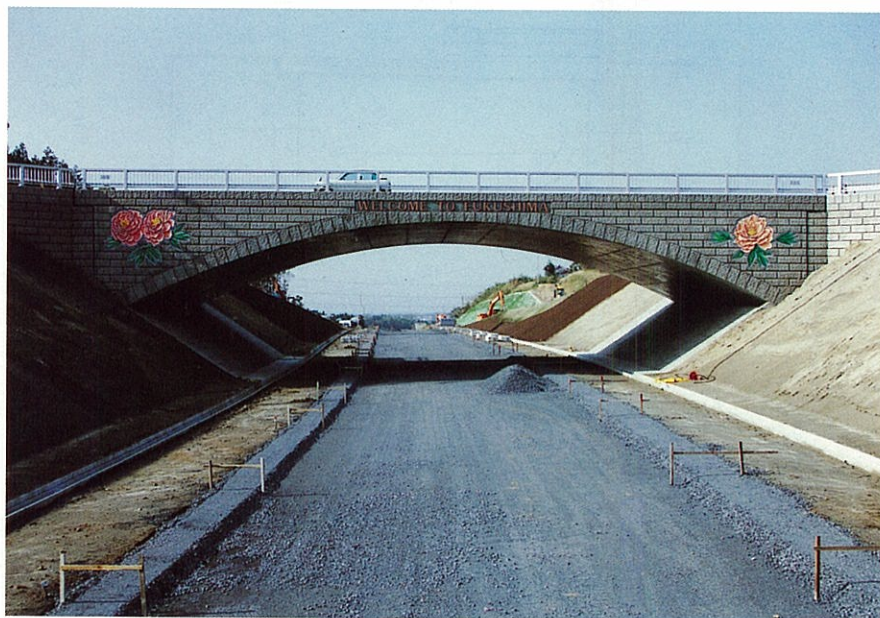


道路種別	○	路線名	石井大子線		桁本数	24本	上部工	部工	量	16 m ³	
位置	起点側	東白川郡矢祭町大字荻荷字奥田			使用PC鋼材	主桁12T10.8、横締1T17.8					
	終点側	〃			PC鋼材量	231kg					
河川名	普通河川		奥田川	流量	15.5 m ³ /sec	架設工法	架設工法				
橋長	9.246m					橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式				
支間割	8.800m					橋脚形式	-				
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 0.75+2.75+2.75+0.75=7.0 m					基礎工	直接基礎				
橋格	1等橋(TL-20)					総事業費	24.5百万円	上部工 工事費	11.5百万円	下部工 工事費	13百万円

11

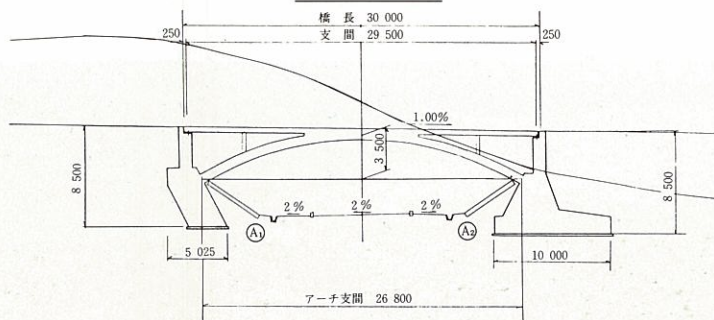
松ヶ作橋 (空港5号橋)

(鉄筋コンクリート固定)
アーチ

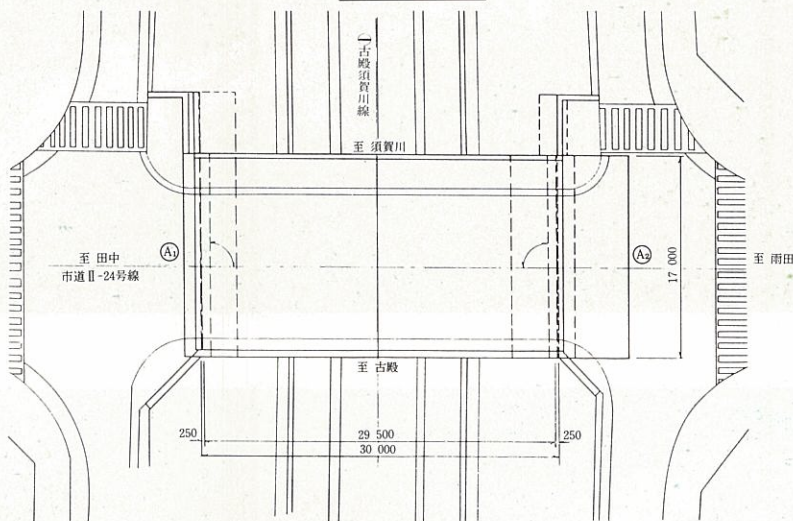


本橋は、福島空港ターミナルから須賀川方向に約3kmの位置で本路線の上を跨ぐ市道Ⅱ-24号線に道路改良事業で架橋したものである。空港エリアへのゲートの役割を持たせるために鉄筋コンクリート固定アーチ形式で計画した。また、福島空港と須賀川市のイメージアップを図るため、疑似閉腹式アーチの側壁に「FUKUSHIMA AIRPORT」、「WELCOME TO FUKUSHIMA」の文字と、「牡丹」の花の絵柄を入れ、空港アクセスのランドマークとなるよう配慮した。

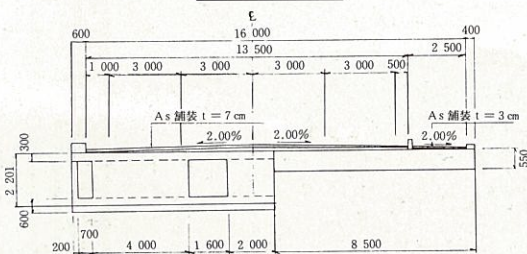
側面図



平面図



断面図

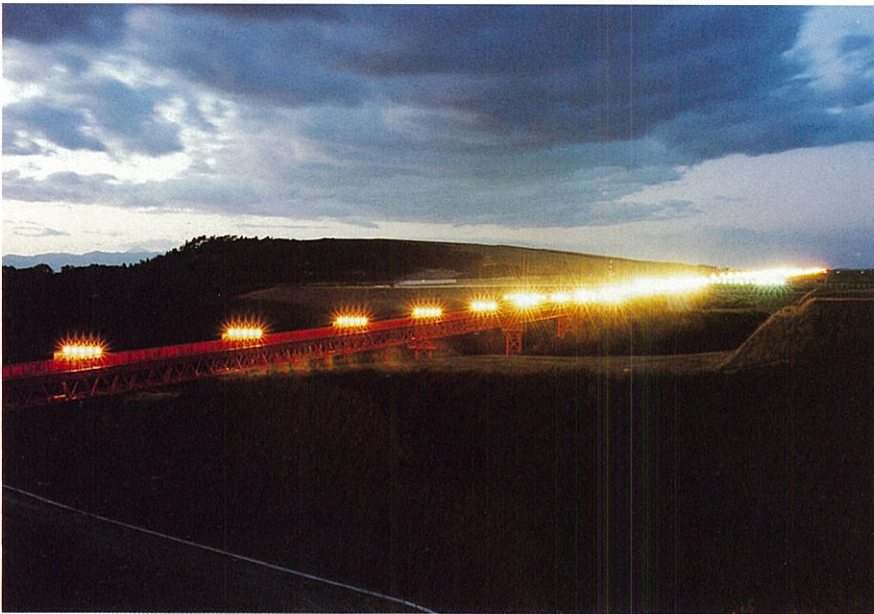


道路種別	○	路線名	古殿須賀川線(市道Ⅱ-24号)	桁本数	一本	上部工	部工	工	量	498 m ³
位置	起点側	須賀川市大字雨田		使用PC鋼材	-					
	終点側	〃		PC鋼材量	-					
河川名	流量			架設工法	-					
橋長	30.000m			橋台形式	鉄筋コンクリート半重力式					
支間割	29.500m			橋脚形式	-					
幅員構成	路肩+車道+車道+車道+車道+路肩+車道=全幅 1.0+3.0+3.0+3.0+3.0+0.5+2.5=16.0m			基礎工	A1、A2：直接基礎					
橋格	1等橋(TL-20)			総事業費	112 百万円	上部工 工事費	54 百万円	下部工 工事費	51 百万円	

12

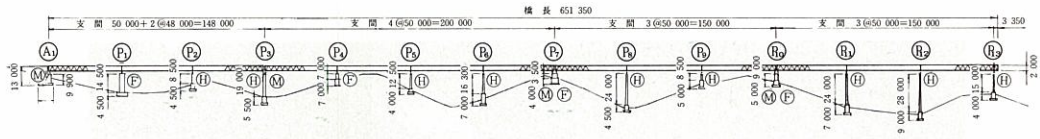
福島空港進入灯橋梁

(3径間連続上路式鋼管
トラス桁+4径間連続
上路式鋼管トラス桁)

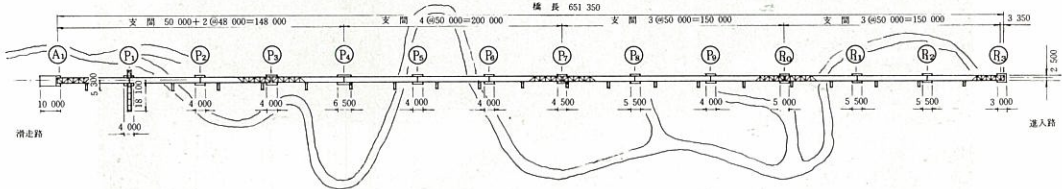


進入灯は、着陸しようとする航空機に対して最終進入経路を示すために設置する灯火で、最終進入に際し、滑走路の中心線の方向、高度、滑走路末端までの距離、航空機の姿勢、進入角度などのガイダンスを与えるための視覚援助施設である。福島空港の進入灯設置区域は、沢部が入り組んで縦断の高低差が大きく厳しい条件であることから、標準式進入灯の支持形式として橋梁形式を採用した。本事業は、運輸省の補助事業（空港整備事業）として、平成元年度に工事用道路2年度に基礎工及び製作、3年度に架設、4年度に灯火設置と4ヶ年で完了した。

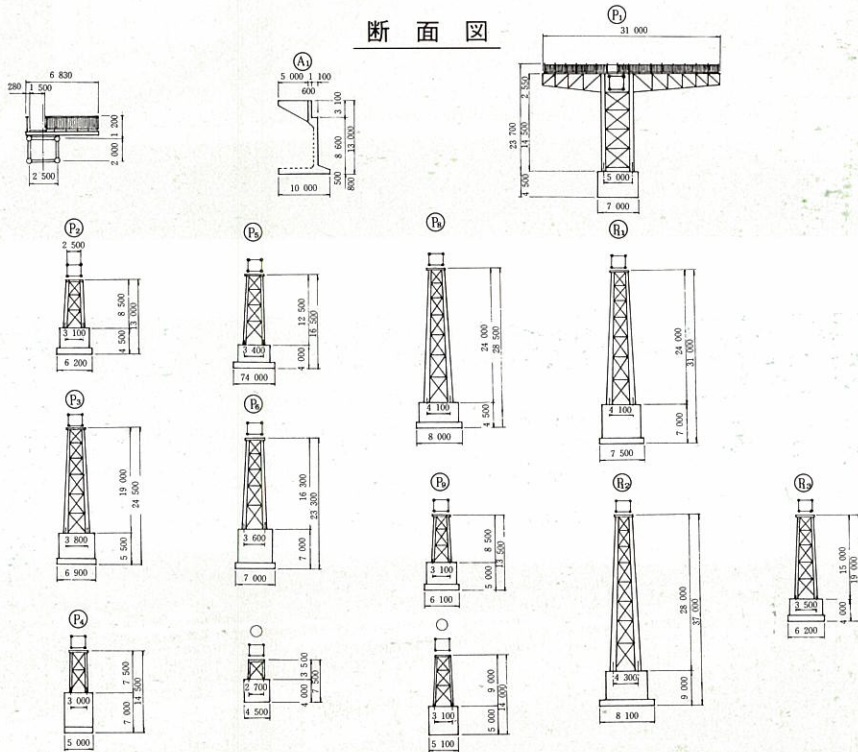
側面図



平面図



断面図



道路種別	路線名	総鋼重	790 t 単位面積当たり重		
		— kg/m ²			
位置	起点側	石川郡玉川村大字小高	塗装種類	プライマー	エッチングプライマー
	終点側	〃		下塗り	鉛系さび止めペイント
河川名	流量	架設工法	中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
橋長	651.350m		上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料	
支間割	(50.000+2@48.000)+(4@50.0)+(3@50.0)+(3@50.0+3.35)m	橋台形式	自走クレーン車によるステージング工法		
幅員構成	上路点検通路1.50m、主構間隔2.50m	橋脚形式	鉄筋コンクリート扶壁式		
橋格	活荷重：集中荷重1.0t/台、群集荷重：100kg/m ² 風荷重：150kg/m ²	基礎工	4柱式橋脚：重力式 2柱式橋脚：鉄筋コンクリート逆T式		
		総事業費	A1、P1～P13：直接基礎	976 百万円	上部工 工事費 623 百万円
			下部工 工事費	102 百万円	

13

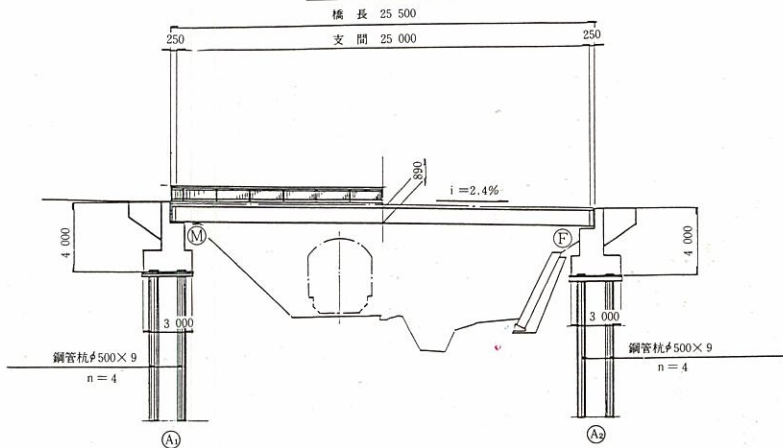
滝尻側道橋

(単純合成H桁)

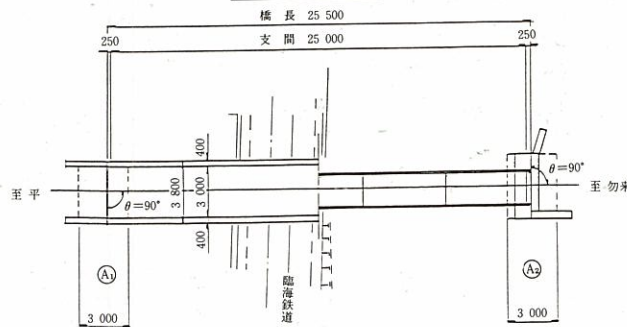


本橋は交通安全施設一種事業にて新設した自転車歩行者道橋梁であり、桁は単純合成H桁、橋台は地盤が軟弱であったため、鋼管杭とした。

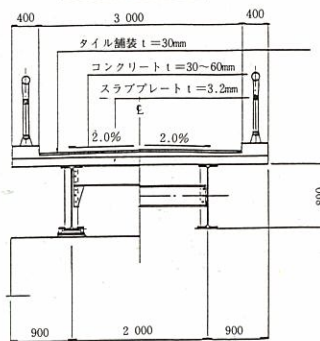
側面図



平面図



断面図



道路種別	①	路線名	いわき上三坂小野線	総鋼重	17 t	単位面積当たり鋼重	175 kg/m ²
位置	起点側	いわき市泉町大字滝尻字坂下3-2		塗装種類	プライマー	エッチングプライマー	
	終点側	いわき市泉町大字滝尻字坂下80-2			下塗り	鉛系止めペイント	
河川名		流量		架設工法	自走クレーン車工法		
橋長		25.500m		橋台形式	鉄筋コンクリート逆T式		
支間割		25.000m		橋脚形式	-		
幅員構成		歩道 3.0 m		基礎工	A1、A2：鋼管杭基礎(φ500mm)		
橋格		歩道橋		総事業費	53 百万円	上部工 13 百万円	下部工 17 百万円



○ **③ 監督員のページ**



横 向 大 橋

道路建設課 小 松 山 茂

1. はじめに

雨が霰に変わろうかと思われるほどの冷たい秋雨の降る中、横向大橋を含む土湯道路高森工区は、平成4年11月17日、盛大に開通式が行われた。

ここに諸先輩方の御協力により土木学会田中賞の他たくさんの賞を頂いた横向大橋の上部工の設計、施工及び監督員の思い出話などについて紹介するものです。

2. 事業の概要

土湯道路は、一般国道115号土湯峠地内の安全な交通の確保、冬期交通の確保を目的に計画された道路である。

土湯峠の猪苗代側に位置する横向大橋は土湯道路に新設された橋長350mの橋梁である。

本橋の大きな特徴は、構造形式として9径間連続曲線橋であると同時に、曲線半径250mの平面線形を利用し水平面内におけるアーチ作用を活用した点にある。



完成後終点側より望む

3. 上部工の設計

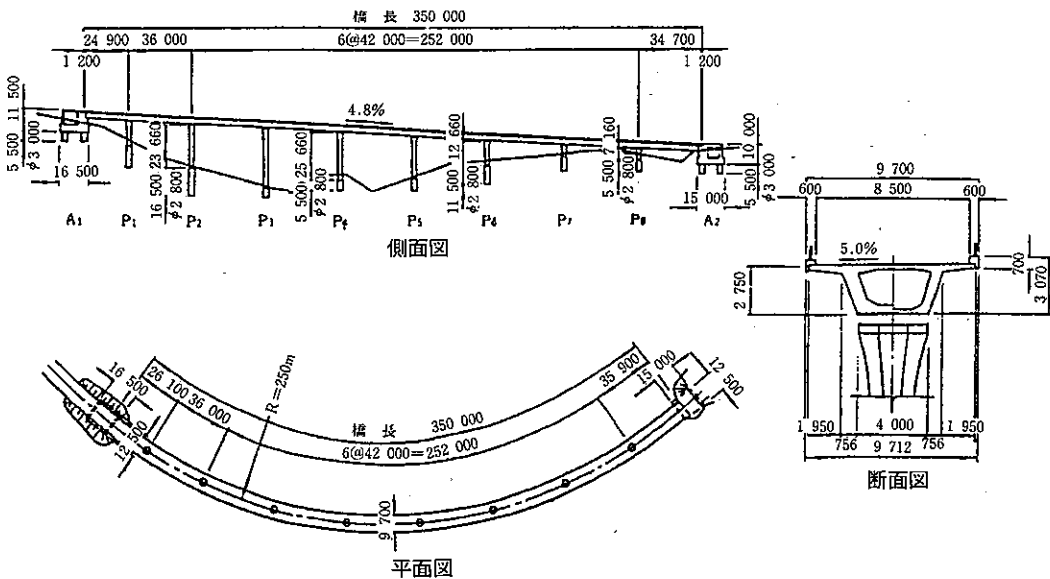
(1) 設計諸元

- 1) 橋 格 1等橋
- 2) 道路規格 3種2級
- 3) 設計速度 50km/h
- 4) 橋 長 350.0m
- 5) 有効幅員 8.5m
- 6) 構造形式 9径間連続曲線PC箱桁
- 7) 支間割 24.9+36.0+6@42.0+34.7
- 8) 平面線形 単曲線 R=250m
- 9) 勾 配 縦断方向4.8%
横断方向5.0%
- 10) 架設工法 押出し工法 (反力集中方式)
- 11) 定着工法 主方向 S E E E工法
横方向 デイビダーク工法
- 12) 主要材料 表-1

表-1 橋体工の主要材料

		単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=400\text{kgf/cm}^2$	m ³	2 554	
型 枠	外 枠	m ²	4 900	
	内 枠	m ²	3 593	
	合 計	m ²	8 493	
鉄 筋	SD30 (D30~D22)	t	570	
P C 鋼 材	仮設用 S E E E F130	t	91.5	
	連続用 S E E E F310	t	32.2	
	P C鋼棒 B種2号 $\phi 32$	t	61.9	
支 承	橋脚上ゴム支承	t	45.5	
	橋台上鉛直支承	t	15.2	
	水平沓	ゴムパッド	枚	24
		S E E E F310T	本	24
	橋台上鋼角ストッパー	t	15.5	

図-1 横向大橋一般図



(2) 構造形式および

架設方法選定の背景

本橋の構造形式および架設方法は、次のような地形地質上の特質、道路線形上の条件を基本として構造特性の検討、架設方法の検討を行い決定された。

- 1) 全橋長(350m)にわたり平面曲線半径250mの単曲線上にあること。水平面でアーチとしてのライズ比を考えると約1/5.5であり、通常のアーチ橋に用いられるライズ比の範囲にある。
- 2) 縦断勾配がほぼ全橋長にわたって一定である。
- 3) 幅員構成および横断勾配が全橋長にわたって一定。
- 4) 両橋台位置は山肌近く、中央付近に向かって深くなる谷地形を渡る橋梁である。
- 5) 支持地盤が安山岩または凝灰岩からなる堅固な地盤である。
- 6) 磐梯朝日国立公園内に位置している。

以上のような条件が、両橋台位置で上部、下部構造が緊結され、アーチ作用を活用する特異な構造形式を生み、さらに架設方法として押出し工法が作用された背景にある。

(3) 構造概要

本橋は、橋梁全体系として耐震性を考えたあまり例のない構造を有している。鉛直荷重に対しては両側支点でねじり変形を拘束し、中間支点ではねじり変形を無拘束とした平面曲線桁である。地震時慣性力の水平荷重に対しては、水平面内において両端支点をヒンジとし、アーチ作用を活用しようという構造である。このアーチ作用により主桁に働く水平力が軸力として橋台に伝達される分だけ各橋脚に作用する水平反力は小さくなる。本橋のような谷地形での高い、スレンダーな橋脚では、この傾向は一層顕著なものとなる。したがって橋脚規模を小さくできる構造となり、国立公園内の山肌をいためる度合いを最小限とすることができる。



完成後北側山頂より望む

4. 上部工の施工

(1) 施工概要

主桁製作ヤードは、縦断勾配を考慮してA₂橋台後方に設けられた。主桁のブロック割を25ブロック（1ブロック長14.0m）として押出し架設を行った。本橋の施工手順を図-2に、標準サイクル工程を表-2に示す。

(2) 本橋における押出し工法の特徴

従来の押出し工法により施工された橋梁と比較し、本橋の押出し工法の特徴を挙げると以下のとおりである。

- 1) 我が国でも過去に例のない半径250mの曲線橋での押出し施工である。
- 2) 橋脚の補強を伴っての押出し施工である。
- 3) 工期の短縮および鉄筋量の多い斜めウェブでのコンクリート打設を確実にすることを目的として、ヤード内における主桁コンクリートの打設方法に、我が国では珍しい「下床版先打ち方式」を採用した。

図-2 施工手順

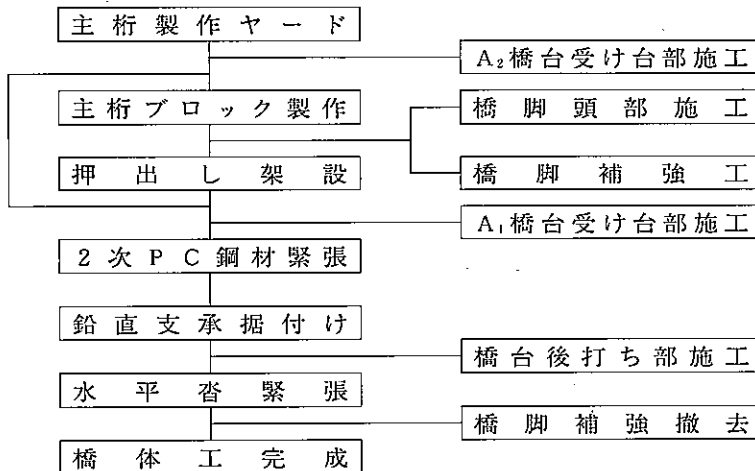


表-2 標準1サイクル工程（稼働率考慮せず）

工程	日数	1	2	3	4	5	6	7	8
押出し架設工		■							
底版調整工			■						
下床版ウェブ鉄筋組			■	■	■				
下床版,ウェブPC鋼材組				■	■	■			
外型枠組立て工		■	■						
内型枠組立て工			■	■	■				
上床版鉄筋組					■	■			
上床版PC鋼材組					■	■			
コンクリート打設工							■		
養生工							■	■	■
内型枠脱枠工								■	■
PC鋼材緊張工									■

(標準ブロック：L=14m, W=250t)

(3) 橋脚の補強

押し出し施工時には、橋脚頭部に反力Rの摩擦係数 μ 分の水平力 $H = \mu R$ が作用することになる。通常の押し出し工法の場合と異なり、本橋においては橋脚の剛性が小さいことから水平力による橋脚頭部の水平変位が過大となるため、橋脚の補強を施して押し出し架設を行った。

1) 橋軸方向の対策

変位防止対策は、橋脚頭部の変位が特に大きなP2～P5橋脚を対象とした。その方法は、施工上の観点より30mm程度に制御することを目的とし、斜材ケーブル(SEEFF270)を柱頭部より前後2本ずつグラウンドアンカーに定着させ、水平力に対応する約40tfの導入力で緊張した

(図-3)。これにより橋脚の剛性が上がり、橋脚頭部の変形は満足できる範囲に収まった。

2) 橋軸直角方向の対策

本橋の押し出し方式は反力集中方式(押し出しジャッキ能力1100tf)である。A2橋台上でのほぼ接線方向が押し出し方向になることから、直角方向に水平力が生じる。この水平力の大半をP7橋脚1箇所集中させるため、P7橋脚の両サイドに堅壁を構築し、直角方向の剛性を極端に大きくした(図-4)。これにより高い橋脚へ働く直角方向水平力を低減するとともに、押し出し時の横方向への移動を制御することができた。

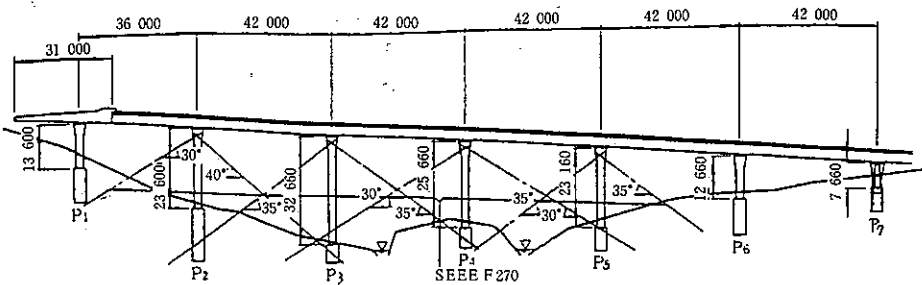
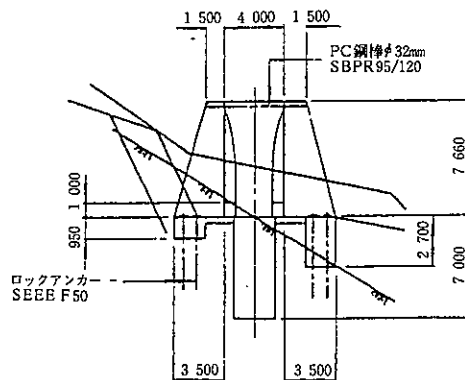


図-3 斜張ケーブル

図-4 P7橋脚の横方向制御補強



(4) 以下に施工状況写真を示す。



コンクリート打設



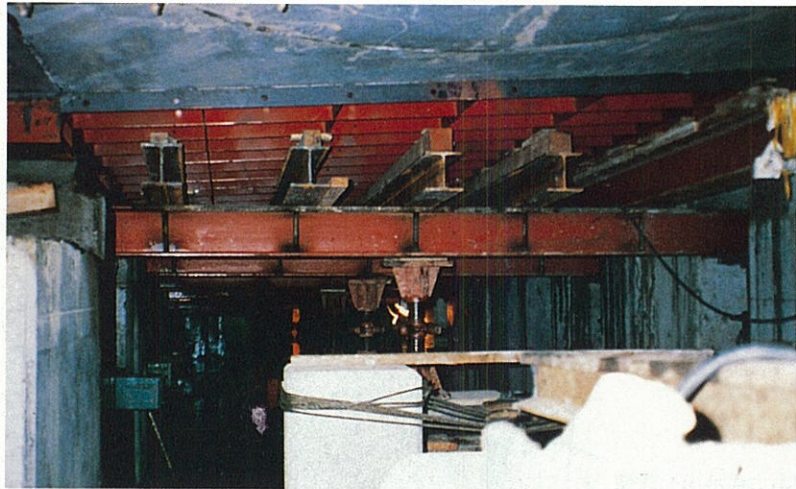
集中方式押し出し設備



集中方式押し出し設備



主桁製作ヤード



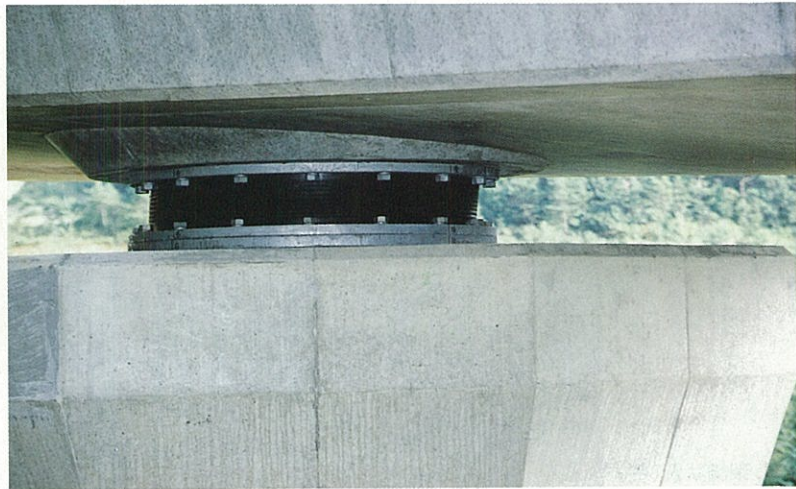
型枠設置



鉄筋・PC鋼材組立



滑り支承及び
横方向制御装置



橋脚上ゴム支承装置



橋脚補強斜材ケーブル



滑り支承及び
横方向制御装置



押し架設状況(冬)



押し架設状況(夏)



完成後(全景)



完成後(全景)

5 横向大橋にたずさわって

横向大橋は、昭和58年に国道橋りょう整備事業として着手し、平成2年の完成に至るまで8年の歳月を要した。私が横向大橋を担当したのは昭和60年4月から平成元年3月までの4年間である。

本橋に関し、私のしたことと言えば、私が喜多方建設事務所勤務となった昭和60年4月には下部工の施工が行われており、前任者の敷いたレールを進めただけで、また、最後の始末は後任者任せ、そんな私が横向大橋の監督員として書くことには気がひける思いもあるが、本橋に携わった喜多方建設事務所をはじめ道路建設課の方々の思いが少しでも伝わればと思っている次第である。

横向大橋がどんな橋かといえば、架橋地点の地形地質上の特質および、道路線形上の条件より、特に平面線形でのアーチ形状に着目し、水平面内でアーチ作用が働く構造系として立案された、世界初の橋梁ということである。

そのため本形式を採用するにあたり、建設省土木研究所をはじめ多くの方々との協議検討が行われ、当時の担当者の苦労は並大抵の苦労でなかったはずであるが、それ以上に世界にも前例のない水平面内アーチ作用に注目し、「これはいける」と考えた前任者の土木技術者としてのセンスには頭の下がる思いである。

また本橋は、架設工法として「押し出し工

法」が採用され平面曲線半径 $R=250$ の押し出しは、日本で最小の曲線半径であり、さらに、主桁製作ヤードとして下床版及びウエブの一部と上床版およびウエブをそれぞれ別の主桁製作台で作る方法を採用したのも、日本ではもちろん最初のことである。

このように本橋は、技術的にも記録づくめであったばかりでなく、磐梯朝日国立公園内に位置することから、景観にも調和するよう架橋地点の山肌を痛める度合を最小限に配慮するとともに、橋脚立柱頭部の形状はどのような形状が景観にマッチするか細心の注意が払われており、このような横向大橋が平成2年度の土木学会田中賞を受賞したことは（受賞当時、田中賞とはどのような賞かわからなかった私であるが）本橋の建設にたずさわった1人として誇りとするところである。

最後に平成5年度より第11次道路整備5ヵ年計画がスタートすることになっているが、そこでは、「良好な環境創造のための道路整備の推進」を主要課題としてとらえ、自然環境との調和を目指すこととしている。今から10年も前に立案された横向大橋でこれらのことが既に考慮されていたということ、にもかかわらず多くを語ろうとしない先輩方、そんな先輩方に社会資本整備にかけるロマンの大きさを感じさせられるとともにそんなロマンが本橋を完成させた原動力と言っても過言ではないと思っている。

○ 4 写真でみる橋梁今昔物語



●写真でみる橋梁今昔物語

人は川や谷を渡るために多くの労力を費やしてきた。その歴史は非常に古い。ここで紹介する写真は、昭和20年代後半から30年代前半までの福島県の現場で撮影されたものである。橋梁の長い歴史からみれば、ほんの数十年前のことではあるが、現在の現場と比較してみると相当の苦労があったことがわかる。

当時の人々の福島県の橋梁にかけた情熱を胸に刻み、今後の橋梁建設への励みとしたい。

1 時代の流れとともに

(1) 宮下橋

一般国道252号に架かる宮下橋（新宮下橋）の変遷をおってみよう。



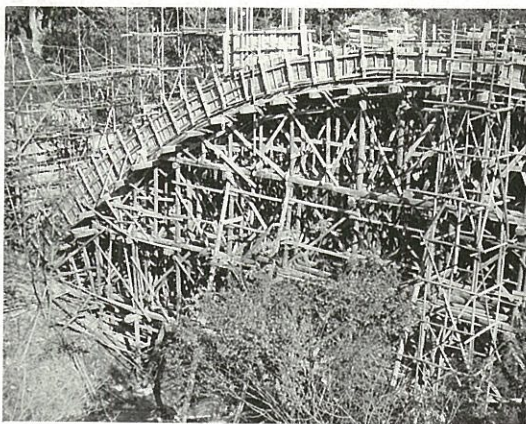
写真① 当時のアルバムに「新旧の妙」とつづられた1枚。

右側の木橋が旧橋。現在は三島町管理となった宮下橋は、昭和32年3月竣工である。



写真② 平成元年度に竣工した新宮下橋、手前の青い高欄が、宮下橋。

これもまさに「新旧の妙」である。



写真③ 木材を使った支保工で架設中の宮下橋。冬期間の架設となり、相当苦労されたようである。



写真④ ケーブルクレーン斜吊り工法で架設中の新宮下橋。

(2) 宮古橋

一般国道49号に架かる宮古橋（新宮古橋）をおってみよう。

宮古橋は、二級国道新潟平線の橋梁として、福島県が施工したものである。



写真⑤ 宮古橋、竣工直前の1枚。右側が旧橋。



写真⑥ 平成2年度に完成した新宮古橋。建設省の施工である。新橋の向こうに宮古橋のトラスがわずかに見える。



写真⑦ 架設中の宮古橋。三連目の組立作業中である。右側が旧橋。

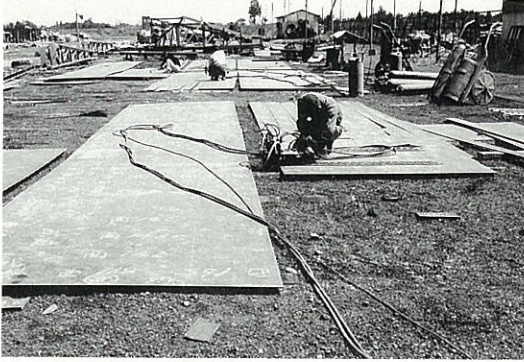


写真⑧ 架設中の新宮古橋。左側が宮古橋。

2 施工にみる今昔

(1) 製作工

鋼 橋

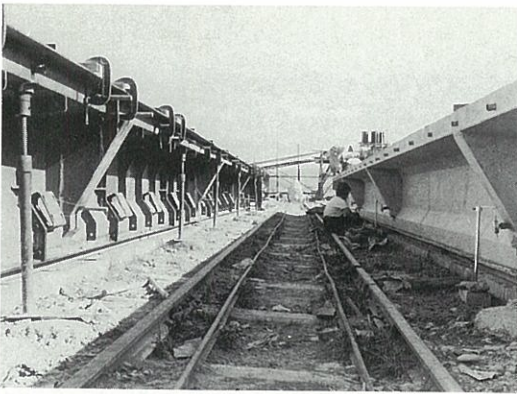


写真⑨ 現在は斜張橋に架替えられた西羽賀橋の旧橋の罫書き及び切断中の写真。
昭和30年代前半の製作工場作業風景である。



写真⑩ NC罫書き中の写真。製作工場の作業風景はすっかり変わった。
平成4年度完成の俊橋である。

P C 橋



写真⑪ 型枠と完成主桁。現在も供用されている蟹川橋の施工中の1枚。
昭和34年竣工である。今と大きく異なるのは、現場でのコンクリートの品質管理。
冬期施工であったため、様々な苦心がみられる。図1～図4はすべて当時作成のもの。

図1

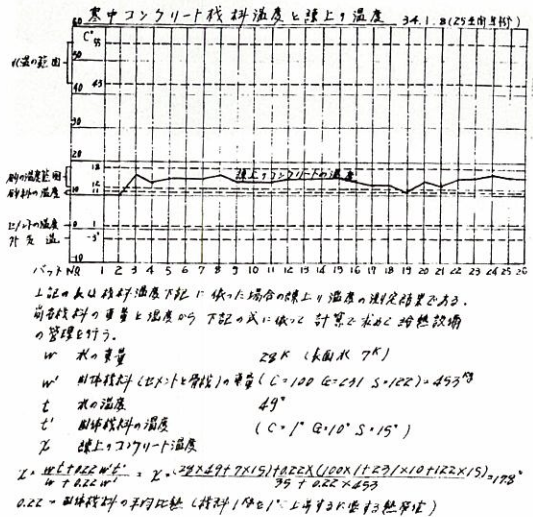


図2

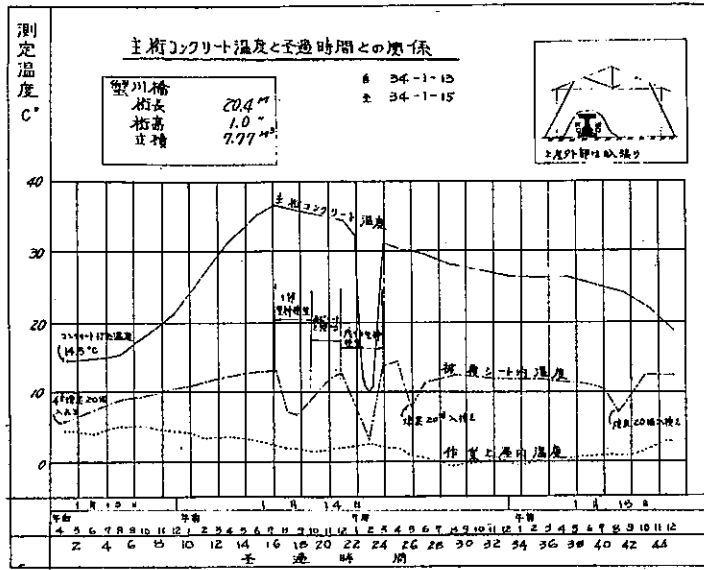
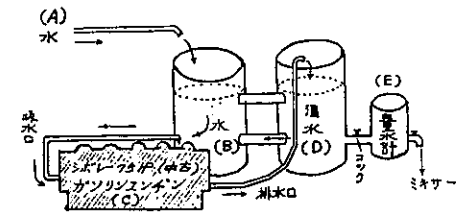


図3

コンクリート使用水湯沸機

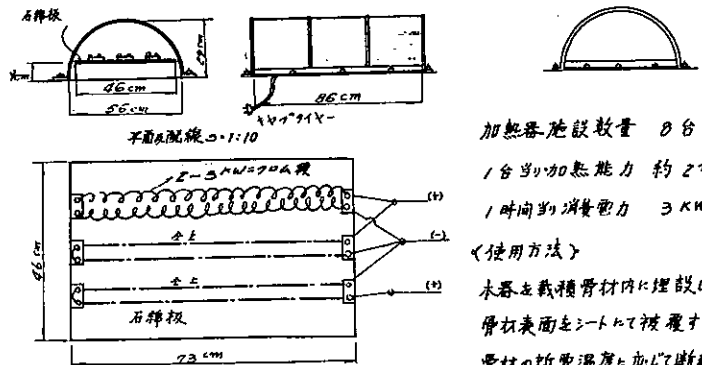


説明

(B)(D)は古トラム並利用の水槽とし日動車中エンジンによって加熱水と作る(B)の水が(C)にて加熱されて(D)の蛇行入り(D)より(E)の量水計を経てミキサーに行くが1〜3バツ分使用する毎に当量の水を(A)より(B)に供給する事によって常に一定温度の温水を得る 最高湯沸能力 40℃〜50℃

図4

粗細骨状加熱器 S=1:20



加熱器施設数量 8台

1台当り加熱能力 約 2m³

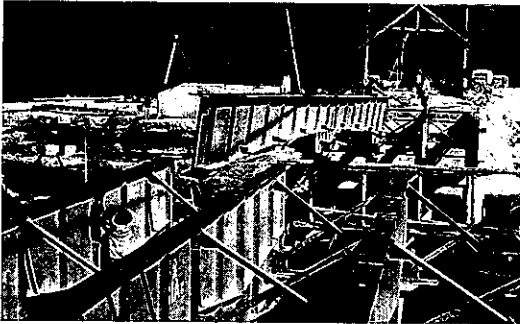
1時間当り消費電力 3KW

<使用方法>

水巻を載積骨材内に埋設して骨材表面をシートで被覆する骨材の所要温度に応じて断続通電する。

(2) 架設工

鋼橋

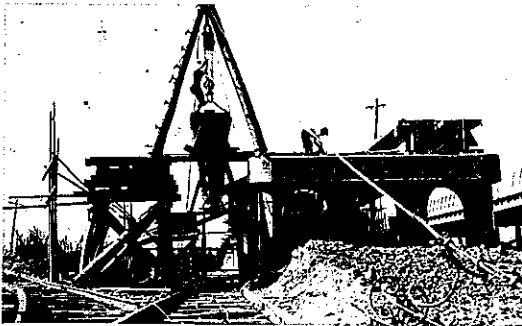


写真⑫ 現在も供用されている金橋の架設工事。ケーブルクレーンによる架設である。



写真⑬ 金橋の主桁の継手は現場溶接である。

PC橋

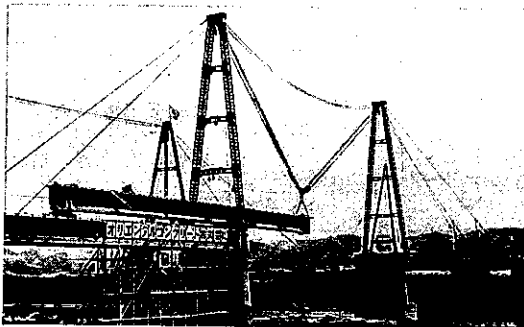
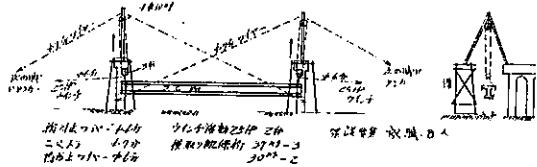


写真⑭ 蟹川橋の桁架設写真。架設方法の説明図は当時のもの。

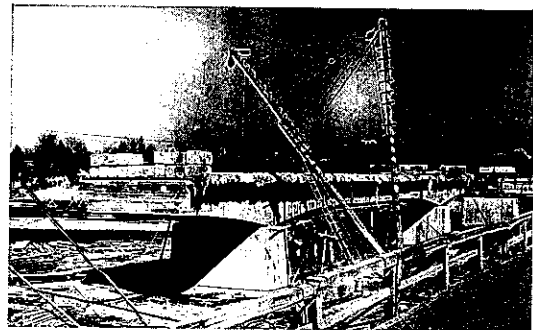
図5

主桁の架設方法

本橋は河岸より橋脚上まで大斜めに傾く河床勾配を避けて河中に
いりて陸地に昇架し架設するので下開のたうり橋脚架設法でしかも安全に
架設がなされた。

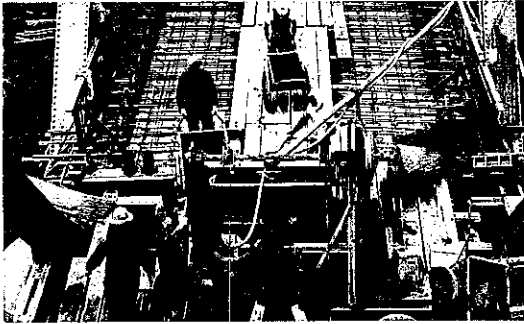


写真⑮ 現在も供用されている伊達崎橋の引出架設。

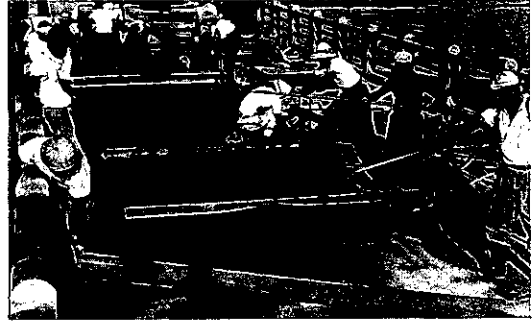


写真⑯ ゲルバーヒンジ部にブロックを積み、桁の反りをふせいでいる。
昭和33年5月竣工の常陸橋。

(3) 床版工・舗装工



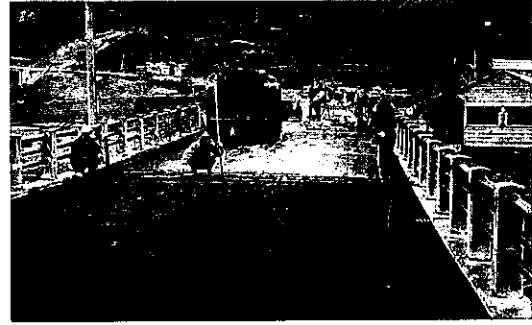
写真⑰ 宮古橋の床版コンクリート打設。中央にコンクリートミキサがみえる。



写真⑱ 蟹川橋の舗装作業状況。中央がフィニッシャー。



写真⑲ 宮下橋の床版コンクリート電気養生中の写真。「凍結しないように」と記されたコメントに担当者の願いがこめられているようだ。



写真⑳ 奥十網橋の舗装作業状況。横断勾配の確認をしながら進んでいる。昭和34年竣工

(4) その他

蟹川橋の実施事業費内訳書
(当時作成のもの)

図6

建設費の内訳	
総計	117,000,000.00
工事費	114,300,000.00
下り工事	24,770,000.00
上り工事	89,530,000.00
設計費	10,000,000.00
管理費	1,000,000.00
雑費	160,000.00
工事費合計	115,460,000.00
管理費	1,500,000.00
雑費	300,000.00

●(工事費)
 下り工事 区別 114,300,000.00
 上り工事 区別 89,530,000.00
 設計費 区別 10,000,000.00
 管理費 区別 1,000,000.00
 雑費 区別 160,000.00
 工事費合計 115,460,000.00
 管理費 1,500,000.00
 雑費 300,000.00
 総計 117,000,000.00
 (内訳書作成)

3 最後に

この特集は、道路建設課の倉庫に保管されているアルバムから抜粋し編集したものです。紹介したい写真はまだまだあるのですが、紙面の都合上、ごく一部の紹介になってしまったことをおわびいたします。





5 土木学会田中賞受賞(横向大橋)



平成2年度土木学会田中賞の受賞について

平成2年に完成した横向大橋が、平成2年度土木学会田中賞を受賞しました。ここに土木学会発行の授賞理由書の全文及び新聞記事を転載し、記録保存に役立てたいと思います。

授賞理由書

よこむき おおはし 横 向 大 橋

本橋は磐梯朝日国立公園内を通過する一般国道115号、土湯道路の一環として建設された橋長350m、標準支間長42mの9径間連続PC曲線箱桁橋であります。

本橋の特徴の一つは、地形・地質上の条件、道路線形上の条件を反映し、多径間連続桁であると同時に、平面線形上のアーチ形状を利用し、水平面内でアーチ作用を活用するという得異な構造を有していることであります。すなわち、橋脚上支持はねじりを束縛しない一点支承から、橋台上支持はねじりを拘束する2点支承および橋軸方向移動を拘束する水平支承からなり、橋梁全体でアーチ構造を形成するという非常に斬新な構造形式を採用しております。橋脚をスレンダーなものとし、地震時における慣性力の大半を上部構造および橋台に受けもたせるこの構造は、橋脚基礎を小さくでき、国立公園内での山肌をいためる度合いを最小限にしております。

一方、本橋の施工にあたっては、種々比較検討の結果、架設工法として押出工法が選定されておりますが、わが国では類例のない小曲線 ($R=250\text{m}$)、縦断勾配 ($i=4.8\%$) を持った押出し工法であります。さらに、構造上橋脚が非常にフレキシブルであることから、高い橋脚において押出し施工時の水平変位が過大となってしまうため、これらの橋脚には斜材ケーブルで補強を施し押出し施工を行っております。従来、わが国で押出し架設された橋梁は、橋脚剛度の大きい橋脚、もしくは押出し水平力の作用方向が一方向に限られた条件下で施工されるのが一般的でしたが、本橋はフレキシブルな橋脚上で、方向性の定まりにくい曲線橋という厳しい条件のなかで押し出されたものであります。

以上のように本橋の建設においては、国立公園の雄大な自然環境の保全を考慮し、斬新かつ景観的に優れた構造形式を採用するとともに、施工においても数々の問題点を克服して完工したことは、今後の橋梁技術の進歩に貢献するところが大きく、土木学会田中賞に値するものと認められました。

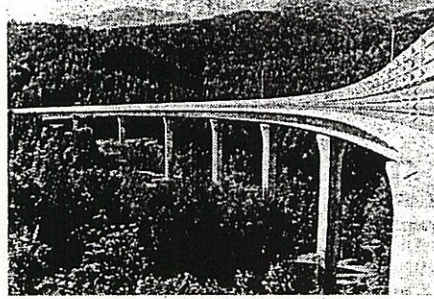
横 向 大 橋 (猪 苗 代) が 田 中 賞 受 賞

県内初、土木学会で表彰式

の曲線形で設計、施工した。

一五号国道・土湯道路整備の一環として建設中の横向大橋(耶麻郡猪苗代町)が、わが国の橋梁・構造工学分野で優秀な業績を残したとして二十九日、土木学会で権威のある「田中賞」を本県で初めて受賞する。

田中賞は、橋梁・構造工学界の発展に尽くした故田中豊東大名誉教授(日本学士院会員)の功績にちなんで昭和四十一年度より土木学会賞の一つ



土木学会・田中賞を受賞する横向大橋

に加わった。論文、作品の二つの部門で表彰している。横向大橋は作品部門で受賞する。長さ三百五十メートル、傾斜のある地形などを考慮して全国で例の少ないアーチ構造

▲福島民報新聞 平成3年5月29日朝刊

本 県 に 田 中 賞
贈 り た た え る
土 木 学 会



社団法人土木学会は二十九日、東京・市ヶ谷の私学会館で開いた総会で学会賞の表彰を行い、一五号国道・土湯道路の横向大橋(耶麻郡猪苗代町)を建設している本県に橋梁工学顕彰では最も権威のある「田中賞」が贈られた。授賞式には、県喜多方建設事務所長時代、横向大橋の建替」と喜びを語っていた。

また、橋脚基礎を小さくし、国立公園内の山肌をできるだけ傷めないように配慮した。これらの計画から設計、施工、景観に至る各段階で優れた特色があると認められた。横向大橋の建設は昭和五十八年度に始まり、来年度に開次長が出席する。

「田中賞」の賞状を手に、受賞を喜ぶ江花次長

▲福島民報新聞 平成3年5月30日朝刊



「田中賞」とは…

橋梁・構造工学会の権威者、故 田中豊博士(日本学士院会員東京大学名誉教授)は、昭和39年に76才をもって逝去された。博士が残された功績は文字どおり日本の橋梁会、鋼構造界の育ての親と呼ばれるにふさわしいものであった。

博士逝去後、ご遺族からのご寄付と有志からの基金により土木学会では橋梁・構造工学に関する優秀な業績に対して毎年「土木学会田中賞」を授与することとし、昭和41年度より土木学会賞の一つに加えられたものである。

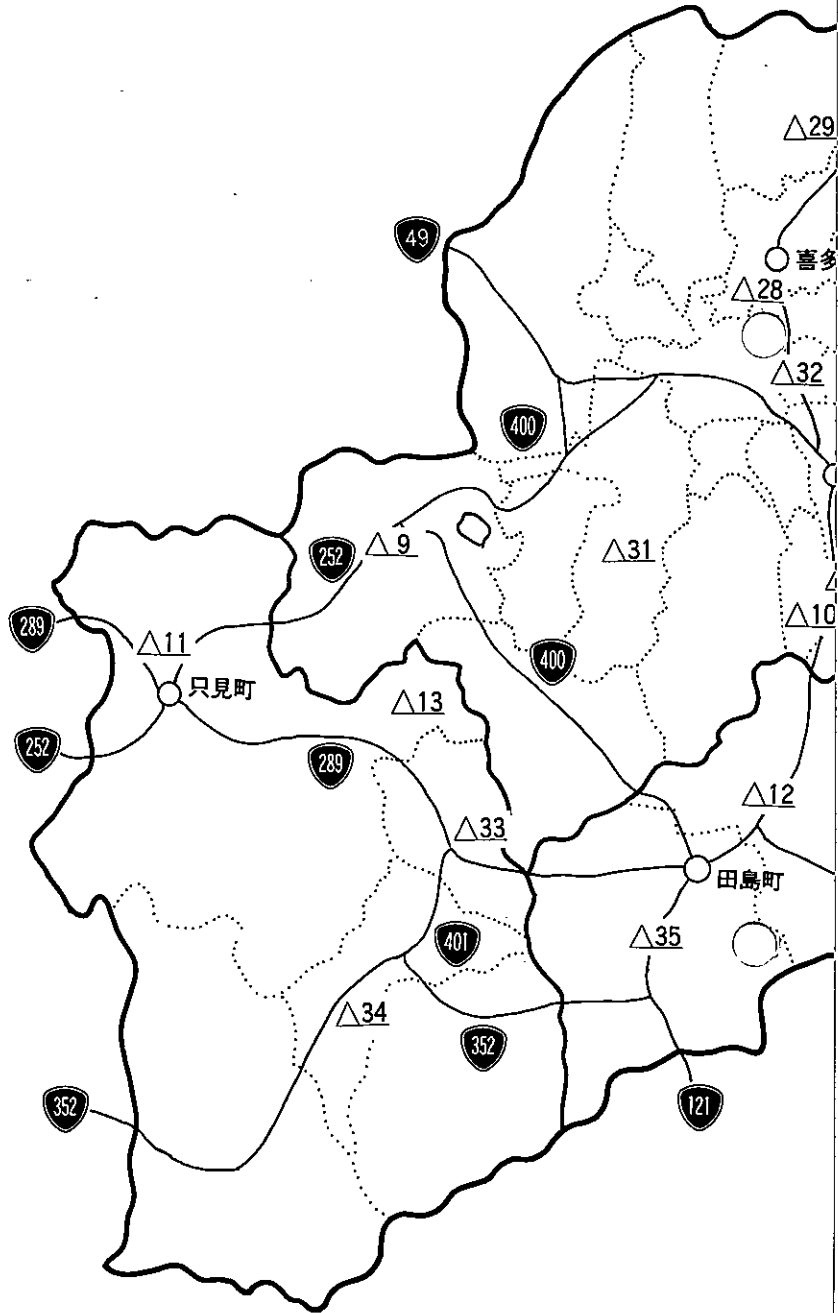


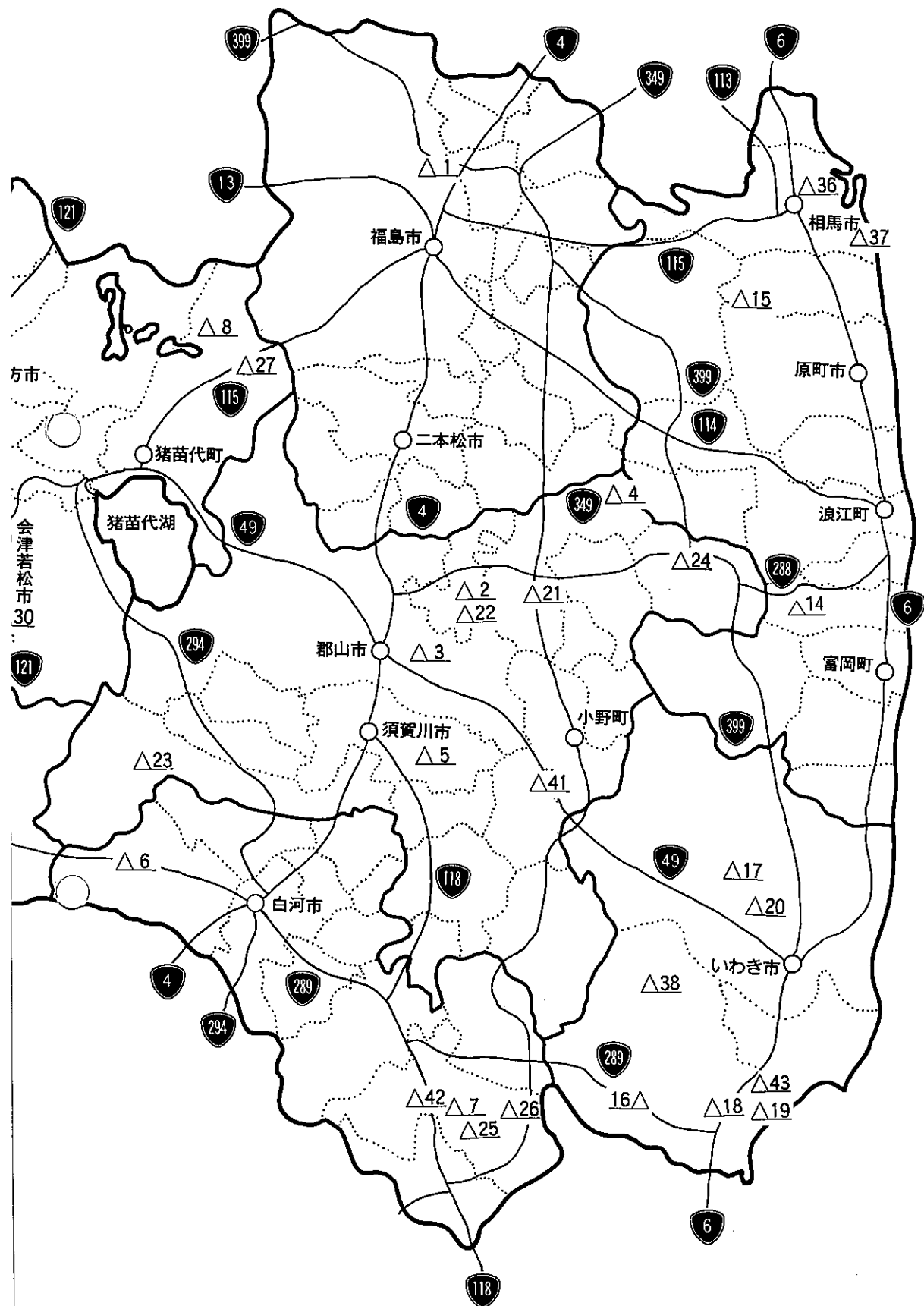
○ **6** 平成2年度完成橋梁位置図



2年度完成橋梁位置図

	橋名	路線名
1	飯坂大橋	国道 399 号
2	柴原橋	㊦飯野三春栃本線
3	大橋	⊖金屋本宮線
4	橋本橋	⊖上移常葉線
5	江戸橋 (空港4号橋)	⊖古殿須賀川線
6	第2片見橋	国道 289 号
7	川辺橋	㊦塙大津港線
8	新大倉川橋	⊖福島吾妻裏磐梯線
9	川口橋	国道 252 号
10	栃沢橋	⊖下郷本郷線
11	大麻平橋	国道 289 号
12	栄橋	⊖下郷本郷線
13	太田橋	⊖小林会津宮下(備)線
14	けやき橋	国道 288 号
15	坂下橋	㊦原町川俣線
16	中平橋	国道 289 号
17	香後橋	㊦小野四倉線
18	渋川橋	㊦勿来岩間線
19	サンマリナーナ ブリッジ	臨港道路剣浜線
20	小玉大橋	市道明神平家ノ前線
21	今泉跨線橋	国道 349 号
22	中郷橋	㊦飯野三春栃本線
23	新滝坂橋	㊦須賀川田島線
24	地成橋	村道山口大槻線
25	鞍掛橋	㊦塙大津港線
26	滝ノ入橋	国道 349 号
27	横向大橋	国道 115 号
28	濁川橋	㊦喜多方西会津線
29	熱塩橋	⊖熱塩温泉追分線
30	沢川橋	国道 121 号
31	上新田橋	㊦柳津昭和線
32	館ノ内橋	⊖浜崎高野会津若松線
33	小屋川橋	国道 289 号
34	長道橋	国道 352 号
35	荒海橋	町道古内長沢山線
36	地蔵川橋	国道 113 号
37	新館野橋	⊖原町海老相馬線
38	界橋	㊦いわき上三坂小野線
41	大橋側道橋	㊦石川平田線
42	赤沢川橋	⊖矢祭棚倉自転車道線
43	朝日台歩道橋	㊦いわき上三坂小野線









7 平成2年度完成橋梁一覽表



[1] 道 路 橋

(1) 鋼 橋

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所 在 地	河 川 名 (踏切 道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割
L ≥ 15 m								
1	飯坂大橋	福島	国道 399 号	福島市	赤川	91.50	20.00 6.50	2@45.20
2	柴原橋	郡山	⊕飯野三春栃本	三春町	大滝根川	100.00	10.00 6.00	30.95 +37.00 +30.95
3	大橋	郡山	⊖金屋本宮	郡山市	谷田川	58.20	12.00 6.00	2@28.40
4	橋本橋	郡山	⊖上移常業	船引町	移川	22.4	10.00 6.00	18.10
5	空港4号橋	郡山	⊖古殿須賀川	須賀川	初瀬川	116.00	12.50 6.50	35.08 +45.00 +35.08
6	第2片見橋	白河	国道 289 号	西郷村	白穂沢	63.00	8.00 6.00	62.00
7	川辺橋	白河	⊕塙大津港	塙町	那倉川	26.00	8.00 6.00	25.30
8	新大倉川橋	喜多方	⊖福島吾妻裏磐梯	猪苗代町	大倉川	112.30	7.50	2@34.30 +42.90
9	川口橋	会津若松	国道 252 号	金山町	野尻川	74.00	11.00 6.00	2@36.50
10	栃沢橋	会津若松	⊖下郷本郷	本郷町		53.40	7.00 5.50	3@17.33
11	大麻平橋	田島	国道 289 号	只見町	叶津川	42.70	8.00 6.00	42.70
12	栄橋	田島	⊖下郷本郷	下郷町	戸石川	77.50	10.00 6.00	2@38.35
13	太田橋	田島	⊖小林会津宮下(傍)	只見町	太田川	19.90	7.00 5.50	19.90
14	けやき橋	原町	国道 288 号	大熊町		25.00	11.50 6.50	24.28
15	坂下橋	原町	⊕原町川俣	原町市	上真野川	27.80	4.95 4.35	27.43
16	中平橋	いわき	国道 289 号	いわき市		33.00	11.00 6.50	32.12
17	香後橋	いわき	⊕小野四倉	いわき市		34.70	10.00 6.00	33.90

下 部 工			上 部 工				事 業 名
形 式	施 工 業 者	コンサルタント	形 式	鋼 重 (t)	施 工 業 者	コンサルタント	
逆T式	佐藤工業(株)	新構造技術(株)	2径間連続 非合成箱桁	474	川田工業(株)	新構造技術(株)	国道橋梁整備
控壁式 逆T式	大一建設(株)	(株)橋梁コン サルタント	3径間連続 非合成箱桁	163	日本鉄塔工業(株)	(株)橋梁コン サルタント	地方道橋梁整備
逆T式	塩田建設	(株)北日本技術 コンサルタント	2径間連続 非合成箱桁	124	(株)橋崎製作所	(株)北日本技術 コンサルタント	緊急地方道整備 地方道橋梁整備
逆T式	三和工業(株)	陸奥測量設計(株)	単純合成H桁	29	矢田工業(株)	矢田工業(株)	県単橋梁整備
逆T式	陰山田母神 武田建設JV	大日本コン サルタント(株)	3径間連続 非合成箱桁	248	(株)サクラダ	大日本コン サルタント(株)	緊急地方道整備
壁式	三金興業(株)	(株)橋梁コン サルタント	単純非合成箱桁	238	佐藤鉄工(株)	(株)橋梁コン サルタント	国道橋梁整備
逆T式	深谷建設(株)	東日本測量(株)	単純合成箱桁	35	東開工業(株)	東日本測量(株)	緊急地方道整備
逆T式	(株)小川組	(株)東コン サルタント	3径間連続 非合成箱桁	163	福島橋梁建設JV	(株)東コン サルタント	災害復旧 県単橋梁整備
逆T式	大和建设工業(株)	(株)建設技術研究所	2径間連続 非合成箱桁	190	東日本鉄工(株)	(株)建設技術研究所	国道橋梁整備
逆T式	江川建設(株)	(株)東コン サルタント	単純合成H桁	63	東開工業(株)	(株)東重設計事務所	地方道橋梁整備
逆T式	美馬建設(株)	(株)東亜設計事務所	単純合成箱桁	82	矢田工業(株)	(株)東亜設計事務所	国道橋梁整備
逆T式	(株)渡部工務所	(株)近代設計事務所	2径間連続 非合成箱桁	142	(株)巴組鉄工所	(株)近代設計事務所	地方道橋梁設備
逆T式	南会工業(株)	(株)協和コン サルタント	単純非合成箱桁	32	宇野重工(株)	(株)協和コン サルタント	県単橋梁整備
逆T式	(株)田中建設	(株)東コン サルタント	単純合成箱桁	40	協三工業(株)	(株)東コン サルタント	県単橋梁整備 (核燃関連)
ラーメン式	東北建設(株)	(株)東コン サルタント	単純合成箱桁	24	東開工業(株)	(株)東コン サルタント	交通安全第1種
逆T式	(株)中山組	(株)東コン サルタント	単純非合成箱桁	73	東開工業(株)	(株)東コン サルタント	国道橋梁整備
逆T式	(株)荻野組	(株)東コン サルタント	単純合成箱桁	62	平工橋梁(株)	(株)東コン サルタント	地方道橋梁整備

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
18	渋川橋	いわき	⑩ 勿来岩間	いわき市	渋川	40.70	18.80 9.00	39.50
19	サンマリーナブリッジ	いわき	臨港剣浜	いわき市		43.98	9.25 6.00	2@21.04
20	小玉大橋	いわき	市道明神平家ノ前	いわき市	小玉川	81.15	7.00 5.50	80.10

(2) P C 橋

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
L ≥ 15 m								
21	今泉跨線橋	郡山	国道 349 号	船引町	J R 磐越 東 線	44.70	14.00 6.50	2@21.60
22	中郷橋	郡山	⑩ 飯野三春栃本	三春町	大滝根川	135.06	9.75 6.00	4@32.78
23	新滝坂橋	郡山	⑩ 須賀川田島	天栄村		19.50	8.00 6.00	18.80
24	地成橋	郡山	村道山口大槻	都路村	大槻川	21.06	5.50 4.00	20.40
25	鞍掛橋	白河	⑩ 塙大津港	塙町	那倉川	29.00	8.00 6.00	28.24
26	滝ノ入橋	白河	国道 349 号	塙町	那倉川	21.00	8.00 6.00	20.34
27	横向大橋	喜多方	国道 115 号	猪苗代		350.00	8.50 6.50	24.90 +36.00 +6@42.00 +34.70
28	濁川橋	喜多方	⑩ 喜多方西会津	喜多方市	濁川	168.00	11.00 6.50	6@27.26
29	熱塩橋	喜多方	○ 熱塩温泉追分	熱塩加納村	押切川	39.00	10.00 6.00	38.00
30	沢川橋	会津若松	国道 121 号	会津若松市	沢川	15.60	11.00 6.50	15.54
31	上新田橋	会津若松	⑩ 柳津昭和	柳津町	東川	30.00	12.00 6.00	29.14
32	たて館ノ内橋	会津若松	○ 浜崎高野会津若松	湯川・村	瀬川	67.10	12.00 6.00	2@37.68

下部工			上部工			事業名	
形式	施工業者	コンサルタント	形式	鋼重 (t)	施工業者		コンサルタント
逆T式	錦興業(株)	日栄地質 測量設計(株)	単純鋼床版鉄桁	285	川田工業(株)	日栄地質 測量設計(株)	重要幹線街路
重力式 逆T式	(株)三崎組	(株)東コン サルタント	単純非合成箱桁	122	福島橋梁建設JV	(株)近代設計事務所	港湾修築
ラーメン式	磐城土建工業(株) 堀江工業(株)	(株)東コン サルタント	下路式 曲弦トラス	251	ドービー工業(株)	(株)東コン サルタント	小玉ダム建設

下部工			上部工			事業名	
形式	施工業者	コンサルタント	形式	桁本数 (本)	施工業者		コンサルタント
逆T式	三和工業(株)	(株)シビル エンジニアーズ	2径間連結 プレテンT桁	30	オリエンタル 建設(株)	(株)シビル エンジニアーズ	国道橋梁整備
逆T式	(株)斉藤組 大一建設(株)	(株)近代設計事務所	4径間連結 ポステンT桁	24	ドービー 建設工業(株)	(株)近代設計事務所	地方道橋梁整備
重力式	板橋建設(株)	(株)郡山測量設計社	単純プレテン T桁	9	ドービー 建設工業(株)	(株)郡山測量設計社	緊急地方道整備
逆T式	渡辺工業(株)	東北測量(株)	単純プレテン T桁	6	(株)会津工建社	東北測量(株)	市町村道整備
逆T式	深谷建設(株)	東日本測量(株)	単純ポステン T桁	5	(株)会津工建社	東北測量(株)	緊急地方道整備
逆T式	深谷建設(株)	東日本測量(株)	単純プレテン T桁	9	(株)会津工建社	東北測量(株)	災害関連 県単橋梁整備
ラーメン式	東信建設工業(株)	星野橋梁 設計事務所	9径間連続 箱桁		(株)ピーエス (株)会津工建社	星野橋梁 設計事務所	国道橋梁整備
逆T式	穴澤建設(株)	(株)近代 設計事務所	単純ポステン T桁	42	(株)会津工建社	(株)近代 設計事務所	緊急地方道整備
逆T式	穴澤建設(株)	(株)近代 設計事務所	単純箱桁 (バイプレ)		オリエンタル 建設(株)	(株)近代 設計事務所	緊急地方道整備
逆T式	木下工業(株)	日栄地質 測量設計(株)	単純プレテン T桁	15	常磐興産(株)	日栄地質 測量設計(株)	通常砂防 県単橋梁整備
逆T式	滝谷建設(株)	(株)郡山測量設計社	単純ポステン T桁	6	(株)会津工建社	(株)郡山測量設計社	地方道改良
逆T式	(株)共立土建	(株)東亜設計事務所	単純ポステン T桁	14	(株)会津工建社	(株)東コン サルタント	小規模河川改良 地方道橋梁整備

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
33	こやかわ 小屋川橋	田島	国道 289 号	南郷村	小屋川	20.60	10.00 6.00	19.84
34	ながみち 長道橋	田島	国道 352 号	伊南村	伊南川	70.00	10.00 6.00	2@34.13
35	あらかい 荒海橋	田島	町道古内長沢山	田島町	阿賀川	62.00	10.00 6.00	2@30.07
36	じぞうかわ 地蔵川橋	原町	国道 113 号	相馬市	地蔵川	63.40	25.00 13.00	2@30.82
37	しんたての 新館野橋	原町	⊖原町海老相馬	相馬市	館野川	28.80	10.00 6.00	28.70
38	さかえ 界橋	いわき	⊕いわき上三坂小野	いわき市	深山口川	22.60	11.00 6.00	21.90
L < 15m								
39	ぜにかみ 銭神橋	郡山	⊖南須釜枓本	須賀川市	河ウツ川	10.91	10.00 6.00	10.49
40	どうやば 銅屋場橋	いわき	⊖三株下市萱小川	いわき市	塩沢川	13.60	7.00 5.50	13.40

[2] 歩道橋・その他

(1) P C 橋

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
L ≥ 15m								
41	おお 大橋側道橋	郡山	⊕石川平田	平田村	北須川	17.30	2.00	16.64
42	あかざわがわ 赤沢川橋	白河	⊖矢祭棚倉自転車道	塙町	赤沢川	17.60	4.00 3.00	16.94
43	あさひだいほどう 朝日台歩道橋	いわき	⊕いわき上三坂小野	いわき市		23.36	2.10	4.00 +18.20

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	桁本数 (本)	施工業者	コンサルタント	
逆T式	馬場建設(有)	(株)東亜設計事務所	単純中空 プレテン床版	16	興和コンクリ ート工業(株)	(株)東亜設計事務所	国道橋梁整備
逆T式	(株)新井組	(株)橋梁コン サルタント	単純ポステン T桁	12	常磐興産(株)	(株)橋梁コン サルタント	国道橋梁整備
逆T式	(株)久米工業	大日本コン サルタント(株)	2径間連続 ポステンT桁	12	(株)会津工建社	大日本コン サルタント(株)	市町村道整備
逆T式	小野建設(株)	(株)東コン サルタント	単純ポステン T桁	28	常磐興産(株)	(株)東コン サルタント	国道橋梁整備
逆T式	草野建設(株)	(株)東コン サルタント	単純ポステン T桁	6	ピーシー橋梁(株)	(株)東コン サルタント	緊急地方道整備
逆T式	鈴木工業(株)	東日本測量(株)	単純プレテン T桁	11	常磐興産(株)	東日本測量(株)	河川局部改良
逆T式	(有)関根建設 工務所	(株)郡山測量設計社	単純プレテン I桁	33	(株)ピーエス	(株)ピーエス	県単橋梁整備
逆T式	磐城土工工業(株)	日栄地質 測量設計(株)	単純プレテン I桁	29	磐城興産(株)	日栄地質 測量設計(株)	県単橋梁整備

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	桁本数 (本)	施工業者	コンサルタント	
逆T式	(有)大和田建設	(株)郡山測量設計社	単純プレテン I桁	2	(株)会津工建社	(株)郡山測量設計社	交通安全第1種
逆T式	(株)山本組	(財)福島県建設 技術センター	単純プレテン I桁	4	(株)会津工建社	(財)福島県建設 技術センター	自転車道整備
重力式	錦興業(株)	東日本測量(株)	単純中空 プレテン床版	4	常磐興産(株)	東日本測量(株)	交通安全第1種



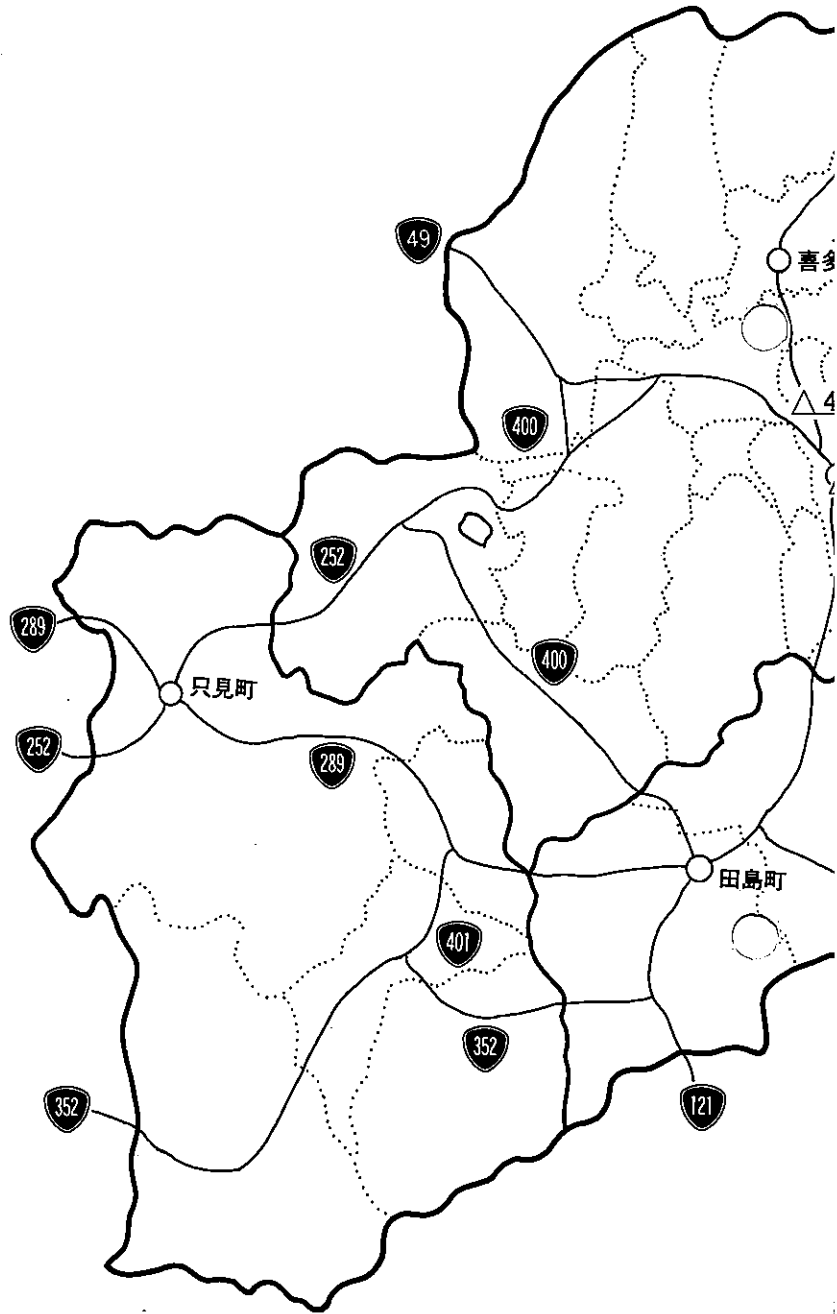


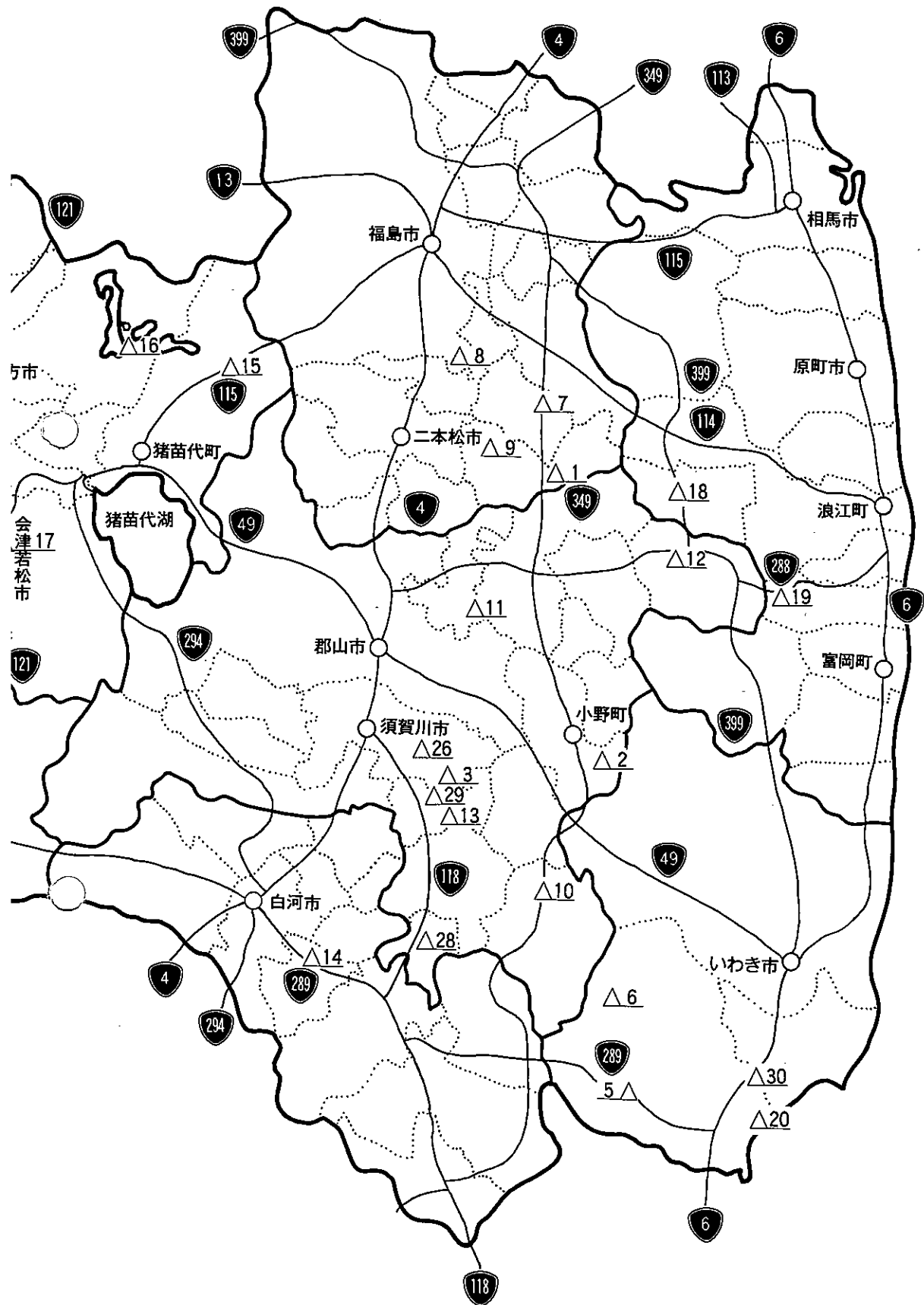
8 平成3年度完成橋梁位置図



3年度完成橋梁位置図

	橋名	路線名
1	樋の口橋	⊖石沢萩田線
2	宮ノ前橋	⊕鶺子夏井働線
3	狸森橋 (空港3号橋)	⊖古殿須賀川線
4	新瀬橋	国道121号
5	田人大橋	国道289号
6	御斎所橋	⊕いわき石川線
7	笹ノ田橋	国道349号
8	立田川橋	⊖大沢広表線
9	大原橋	⊖二本松川俣線
10	土鍋橋	国道349号
11	樋渡橋	⊕飯野三春栃本線
12	天平橋	村道出口大槻線
13	須釜橋 (空港1号橋)	⊖古殿須賀川線
14	新黄金橋	国道289号
15	新岩弓橋	国道115号
16	小野川橋	⊕米沢猪苗代線
17	大橋	国道121号
18	野川橋	国道399号
19	野上橋	国道288号
20	サンマリーナ フリッジ	臨港道路剣浜線
26	松ヶ作橋 (空港5号橋)	市道-24号
28	陣場橋側道橋	⊖板橋浅川線
29	空港進入灯橋梁	
30	滝尻側道橋	⊕いわき上三坂小野線







○ **9** 平成3年度完成橋梁一覽表

[1] 道 路 橋

(1) 鋼 橋

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所 在 地	河 川 名 (踏切 道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割
L ≥ 15m								
1	樋の口橋	福島	○石沢萩田	岩代町	口太川	28.10	12.00 6.00	27.40
2	宮ノ前橋	郡山	⊕鴿子夏井(俣)	小野町	十石川	37.10	10.00 6.00	36.10
3	空港3号橋	郡山	○古殿須賀川	須賀川市	売田川	75.00	14.00 6.50	2@37.00
4	新瀬橋	会津若松	国道 121 号	会津若松市	瀬 川	70.00	25.00 13.00	68.60
5	田人大橋	いわき	国道 289 号	いわき市	四時川	205.00	10.50 6.50	2@23.85 +111.00 2@21.85
6	御斎所橋	いわき	⊕いわき石川	いわき市		49.50	11.00 6.50	14.56 +19.20 +14.56

(2) P C 橋

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所 在 地	河 川 名 (踏切 道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割
L ≥ 15m								
7	笹ノ田橋	福島	国道 349 号	東和町	針道川	15.06	15.50 10.00	14.40
8	立田川橋	福島	○大沢広表	福島市	立田川	23.20	14.00 10.50	22.52
9	大原橋	福島	○二本松川俣	東和町	木幡川	19.85	10.50 8.00	19.19
10	土鍋橋	郡山	国道 349 号	古殿町	大平川	50.00	10.00 6.00	2@24.50
11	樋渡橋	郡山	⊕飯野三春栃本	三春町	樋渡川	15.00	14.50 6.00	14.34
12	天平橋	郡山	村道山口大槻	都路村	古道川	20.06	5.00 4.00	19.40
13	空港1号橋	郡山	○古殿須賀川	玉川村	泉郷川	45.50	17.00 6.50	2@22.00

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	架設	施工業者	コンサルタント	
逆T式	本多組(株) 本田建設(株)	(株)東コン サルタント	単純合成鈑桁	51	協三工業(株)	(株)東コン サルタント	災害復旧助成 県単橋梁整備
逆T式	(株)石覚組	日栄地質 測量設計(株)	単純非合成鈑桁	82	矢田工業(株)	日栄地質 測量設計(株)	緊急地方道整備
逆T式	石川建設JV	(株)キタック	2径間連続 非合成鈑桁	180	(株)片山鉄工所	(株)キタック	緊急地方道整備
逆T式	会津土建(株)	(株)建設技術研究所	単純鋼床版鈑桁	785	川田工業(株) 高田機工(株)	(株)建設技術研究所	国道橋梁整備
逆T式	錦興業(株) (株)中山組	大日本コン サルタント(株)	2径間連続 非合成鈑桁 逆ローゼ桁	576	(株)横河ブリッジ (株)官地鉄工所 東北橋梁建設JV	大日本コン サルタント(株)	国道橋梁整備
ラーメン式	鈴木工業(株)	(株)東コン サルタント	鋼方杖ラーメン	164	川鉄鉄鋼工業(株)	(株)東コン サルタント	地方道橋梁整備

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	架設 (架)	施工業者	コンサルタント	
逆T式	(有)斎藤建設	(株)東コン サルタント	単純プレテン T桁	15	常磐興産(株)	(株)東コン サルタント	第1種改良
逆T式	(株)東信建設	(有)阿部測量設計	単純プレテン T桁	15	ドーピー 建設工業(株)	(有)阿部測量設計	緊急地方道整備
逆T式	(株)野地組	(有)阿部測量設計	単純プレテン T桁	11	ドーピー 建設工業(株)	(有)阿部測量設計	緊急地方道整備
逆T式	(株)鈴木組	(株)近代設計事務所	2径間連続 中空床版		(株)ピーエス	(株)近代設計事務所	第1種改良
逆T式	大一建設(株)	(株)郡山測量設計社	単純中空 プレテン床版	18	常磐興産(株)	(株)郡山測量設計社	地方道改良
逆T式	渡辺工業(株)	東北測量(株)	単純プレテン T桁	6	(株)会津工建社	東北測量(株)	市町村道整備
逆T式	八光東洋開発 橋本建設JV	(株)構造技研	2径間連続 プレテンT桁	34	(株)会津工建社	(株)構造技研	地方道橋梁整備

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切名 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
14	新黄金橋	白河	国道 289 号	表郷村	黄金川	29.00	14.00 6.50	28.20
15	新岩弓橋	喜多方	国道 115 号	猪苗代町	高森川	24.00	9.50 6.50	23.20
16	小野川橋	喜多方	⊕米沢猪苗代	北塩原村	長瀬川	22.70	12.50 6.50	21.90
17	大橋	会津若松	国道 121 号	会津若松市	湯川	34.30	18.00 6.50	2@16.50
18	野川橋	原町	国道 399 号	葛尾村	野川	20.00	10.00 6.00	19.90
19	野上橋	原町	国道 288 号	大熊町	熊川	60.00	片棧橋 4.30	3@19.97
20	サンマリーナブリッジ	いわき	臨港剣浜	いわき市		249.02	9.25 6.00	24.125 7@31.15
L < 15 m								
21	馬洗戸橋	郡山	国道 399 号	都路村	馬洗戸沢	14.35	10.00 6.00	13.69
22	奥田橋	白河	⊖石井大子	矢祭町	奥田川	9.25	7.00 5.50	8.80
23	こわ強滝橋	白河	村道 I - 2 号	大信村	湯沢川	11.10	10.25 6.00	10.66
24	みや宮沢橋	田島	⊖小林館ノ川	只見町	宮沢	14.00	8.00 6.00	13.46
25	三(坂)角(平)橋(幅)	田島	国道 352 号	館岩村	水木沢	13.60	9.00 6.00	13.00

(3) R C 橋

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切名 道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割
L ≥ 15 m								
26	くこう空港 5 号橋	郡山	市道 II - 24 号	須賀川市	県道古殿 須賀川線	30.00	16.00 6.00	26.80
L < 15 m								
27	あ(岩)平橋	白河	⊕棚倉鮫川	棚倉町		5.00	10.00 6.00	

下 部 工			上 部 工				事 業 名
形 式	施 工 業 者	コンサルタント	形 式	桁本数 (本)	施 工 業 者	コンサルタント	
逆T式	三金興業(株)	(株)キタック	単純ポステン T桁	8	オリエンタル 建 設 (株)	(株)キタック	第 1 種 改 良
逆T式 ラーメン式	東信建設工業(株)	現代技術設計(株)	単純ポステン T桁	6	オリエンタル 建 設 (株)	現代技術設計(株)	国道橋梁整備
逆T式	(株)藤田工務店	(株)シビル エンジニアーズ	単純プレテン T桁	14	(株)会津工建社	(株)シビル エンジニアーズ	緊急地方道整備
逆T式	木下工業(株)	新構造技術(株)	単 純 中 空 プレテン床版	24	(株)会津工建社	新構造技術(株)	交通安全第1種 中小河川改良
逆T式	横山建設(株)	(株)キタック	単純プレテン T桁	11	常磐興産(株)	(株)キタック	第 1 種 改 良
重力式	田中建設(株)	(株)東コン サルタント	単 純 中 空 プレテン床版	18	ドーピー 建設工業(株)	(株)東コン サルタント	第 1 種 改 良
逆T式	堀江工業(株)・ 常磐土木(株)・ 福浜工業(株)・ (株)加地和組	(株)東コン サルタント	単純ポステン T桁	40	ドーピー 建設工業(株)	(株)東コン サルタント	港 湾 修 築
逆T式	渡辺工業(株)	(株)郡山測量設計社	単純プレテン T桁	13	ドーピー 建設工業(株)	ドーピー 建設工業(株)	国 道 改 良
逆T式	山本組(株)	菊池測量	単純プレテン I桁	24	日本鋼弦 コンクリート(株)	菊池測量	緊急地方道整備
逆T式	三柏工業(株)	東日本測量(株)	単純プレテン I桁	32	常磐興産(株)	東日本測量(株)	市町村道整備
重力式	(有)目黒建設	(財)福島県建設 技術センター	単 純 中 空 プレテン床版	12	(株)会津工建社	(財)福島県建設 技術センター	県単橋梁整備
重力式	(株)館岩建設	(株)復建技術 コンサルタント	単純プレテン T桁	5	オリエンタル 建 設 (株)	(株)復建技術 コンサルタント	県単橋梁整備

下 部 工			上 部 工				事 業 名
形 式	施 工 業 者	コンサルタント	形 式	桁本数 (本)	施 工 業 者	コンサルタント	
半重力式	須賀川建設JV	(株)復建技術 コンサルタント	RC固定アーチ		須賀川建設JV	(株)復建技術 コンサルタント	県単道路改良
ボックス カルバート	藤田建設(株)	(株)東コン サルタント	ボックス カルバート		藤田建設(株)	(株)東コン サルタント	緊急地方道整備

[2] 歩道橋・その他

(1) 鋼 橋

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所 在 地	河 川 名 (踏切 道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割
L ≥ 15 m								
28	じんば 陣場橋側道橋	郡 山	⊖ 板橋浅川	浅川町	殿 川	30.70	2.00	30.00
29	くうこうしんにゆうとう 空港進入灯橋梁	郡 山		玉川村		651.35	通路 1.50	50.00+2@48.00 4@50.00 3@50.00 3@50.00+3.35
30	たきじり 滝尻側道橋	いわき	⊕いわき上三坂小野	いわき市		25.50	3.00	18.20 25.00

(2) P C 橋

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所 在 地	河 川 名 (踏切 道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割
L < 15 m								
31	くろ 黒 (側道橋)	郡 山	⊕ 郡山湖南	郡山市	安積疎水	6.10	1.50	5.76
32	おおまがり 大 (側道橋)	喜多方	⊖会津若松裏磐梯	磐梯町	大谷川	11.86	2.50	11.40

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	桁数	施工業者	コンサルタント	
逆T式	鈴五建設工業(株)	(株)郡山測量設計社	単純非合成板桁	12	矢田工業(株)	(株)郡山測量設計社	県単交通安全
扶壁式 重力式 逆T式	城野水谷建設JV・ 鈴宏安藤森尾建設 JV・(株)城野組	日栄地質 測量設計(株)	3径間連続ト ラス、4径間 連続トラス	790	駒井川東特定建設 工事JV・松尾東北特 定建設工事JV・駒井 鉄工(株)・松尾橋梁(株)	日栄地質 測量設計(株)	空港整備
逆T式	(株)吉多美工業	東日本測量(株)	単純合成H桁	17	平工橋梁(株)	東日本測量(株)	交通安全第1種

下部工			上部工				事業名
形式	施工業者	コンサルタント	形式	桁数	施工業者	コンサルタント	
逆T式	(株)安藤組		単純プレテン I桁	5	(株)安藤組		県単交通安全
重力式	東信建設工業(株)	(株)虎ノ門 コンサルタンツ	単純中空 プレテン床版	9	(株)会津工建社	(株)虎ノ門 コンサルタンツ	交通安全第1種

● — ● 編 集 後 記 ● — ●

昭和58年版を初版とする「福島県の橋梁」も今回の平成4年度版で10年分の橋梁を整理したことになります。「ヤキトリ屋」での議論の末生まれた本書は、その後の県内外の橋梁関係者各位の「苦勞」と「思い入れ」により、ここまで続けてきたものと思われ
ます。橋梁のライフサイクルからみれば、10年というのはわずかな年数であるかもしれ
ませんが、約400橋のデータが詰まった本書の価値は特筆すべきものであり、また今後
も版を重ねるたびにその価値が上がっていくものと思われ
ます。

平成4年度版の特集は、「写真でみる橋梁今昔物語」と題して、昭和30年代の橋梁工
事を振り返ってみました。当時の橋梁関係者が福島県の橋梁にかけた強い情熱を少しで
も感じとっていただければ幸いです。

また今回の表紙を飾った「横向大橋」が平成2年度土木学会田中賞を受賞したの
で、資料保存の意味から授賞理由書及び新聞記事等を掲載しました。本橋の詳細につい
ては「監督員のページ」で取り上げています。

最後に、「福島県の橋梁」平成4年度版発行にあたり、忙しい中御協力いただきまし
た各位に対し、厚く御礼を申し上げ編集後記といたします。

編集委員長	橋梁係長	菅	野	健	二
	主査	佐	藤	達	雄
	副主査	杉		明	彦

索引

平成2年度完成橋梁索引

【あ】

赤沢川橋	100
朝日台歩道橋	36、100
熱塩橋	28、98
荒海橋	32、100
飯坂大橋	2、96
今泉跨線橋	20、98
江戸橋(空港4号橋)	6、96
大橋	96
太田橋	96
大麻平橋	14、96
大橋側道橋	100

【か】

川辺橋	96
川口橋	12、96
上新田橋	98
鞍掛橋	98
けやき橋	96
香後橋	96
小玉大橋	18、98
小屋川橋	100

【さ】

栄橋	96
界橋	100
坂下橋	96
沢川橋	98
サンマリーナブリッジ	98
新大倉川橋	10、96

新滝坂橋	98
新館野橋	100
柴原橋	4、96
洪川橋	16、98
銭神橋	100

【た】

滝ノ入橋	98
館ノ内橋	30、98
地成橋	98
枳沢橋	96
第2片見橋	8、96
地藏川橋	34、100
銅屋場橋	100

【な】

中平橋	96
中郷橋	22、98
長道橋	100
濁川橋	26、98

【は】

橋本橋	96
-----	----

【や】

横向大橋	24、98
------	-------

平成3年度完成橋梁索引

【あ】

愛宕平橋	110
馬洗戸橋	110
大橋	110
奥田橋	58、110
大原橋	108
小野川橋	110
大曲橋	112

【か】

空港進入灯橋梁	62、112
強滝橋	110
黒橋	112
御斎所橋	48、108

【さ】

笹ノ田橋	108
サンマリーナブリッジ	56、110
三角平橋	110
新瀬橋	44、108
新黄金橋	110
新岩弓橋	110
陣場橋側道橋	112
須釜橋(空港1号橋)	52、108

【た】

田人大橋	46、108
立田川橋	108
滝尻側道橋	112
天平橋	108
土鍋橋	50、108

【な】

野川橋	110
野上橋	54、110

【は】

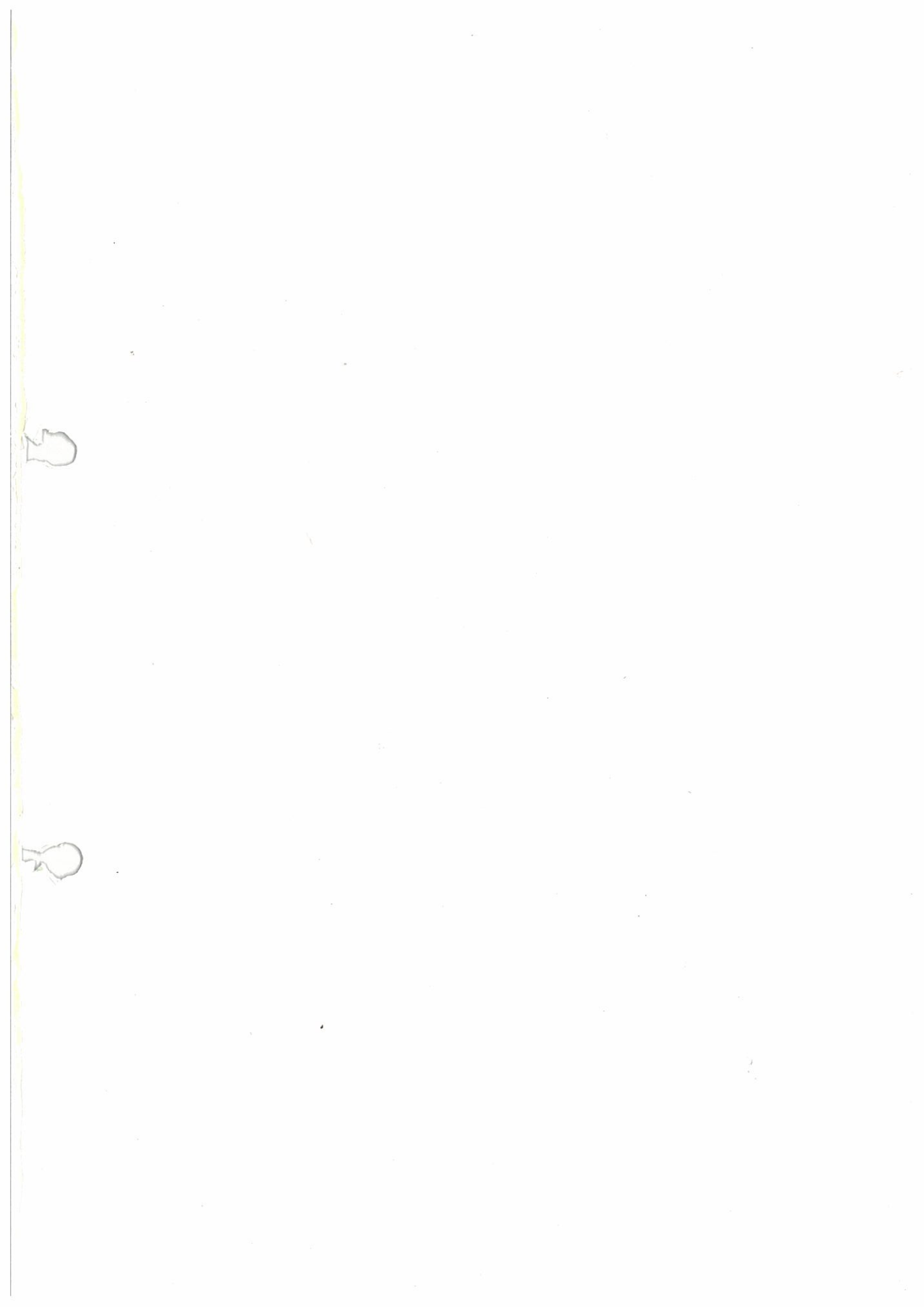
樋の口橋	108
樋渡橋	108

【ま】

松ヶ作橋(空港5号橋)	60、110
宮ノ前橋	40、108
宮沢橋	110
狸森橋(空港3号橋)	42、108

Q

Q





うつくしま、ふくしま。

福島県土木部道路建設課
〒960 福島県福島市杉妻町2-16
電話0245-21-1111(代)